

第1章 「目録情報の基準」とレコードの特性

## 第1章 「目録情報の基準」とレコードの特性

- 1節 「目録情報の基準」とは
- 2節 レコードの特性

目録規則について未学習の場合は、  
参考資料等で学習するようにしてください。

CAT2020 運用開始以降は、  
レコード ⇒ データ  
ファイル ⇒ データセット  
と読み替えてください。

### 1節 「目録情報の基準」とは

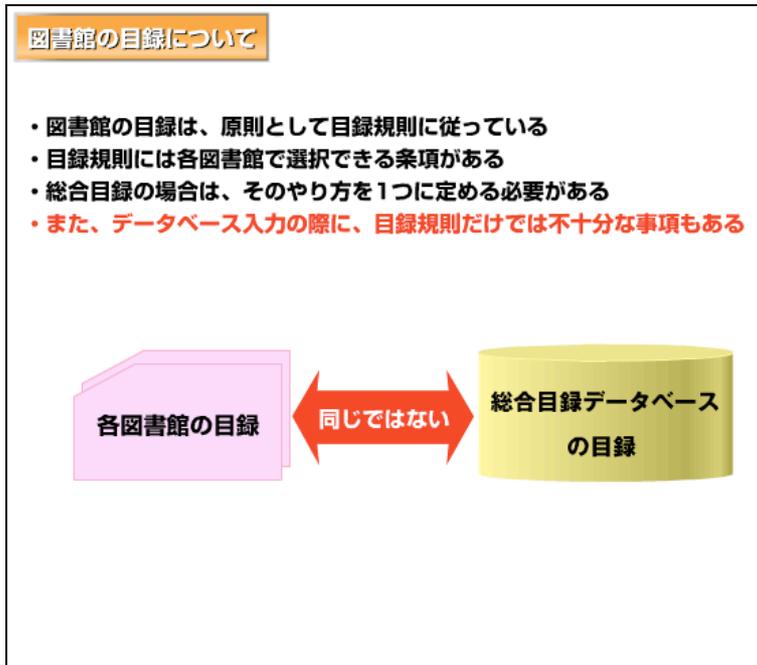
- 1項 「目録情報の基準」が必要なわけ
- 2項 目録規則と「目録情報の基準」の関係
- ~~3項 クイズ~~

#### 【学習目標】

1. 「目録情報の基準」の必要性を説明できる。
2. 目録規則と「目録情報の基準」の関係を説明できる。
3. 目録業務の作業において参照すべき主なツールを理解する。

第1章 「目録情報の基準」とレコードの特性

1項 「目録情報の基準」が必要なわけ

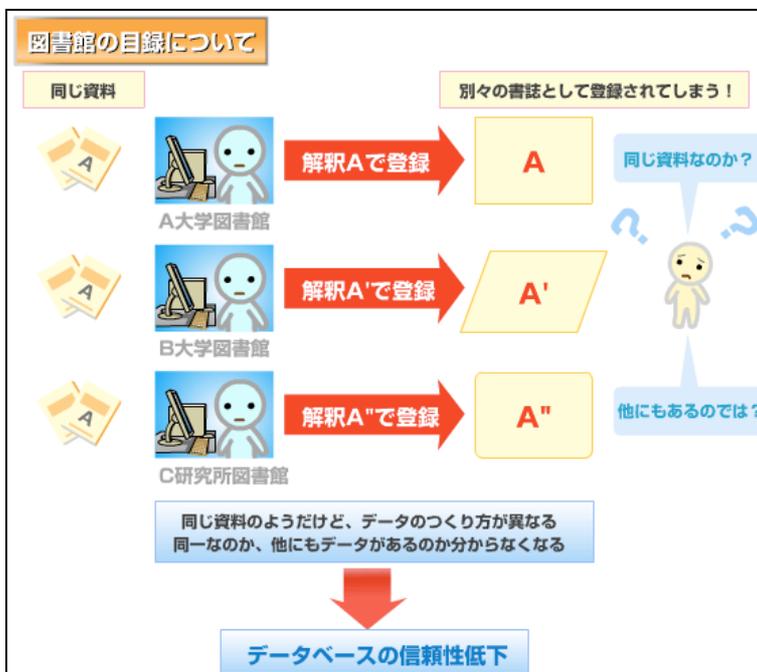


図書館の目録は、原則として目録規則に従って作成されています。

ただし、目録規則には各図書館の事情に合わせて、作成方法を選択できる条項があります。

複数の図書館で総合目録を構築する場合は、その作成方法を1つに定めておかななくてはなりません。

また、データベースに入力する際に、目録規則だけでは足りない事項もあります。



目録規則に従ったとしても、それぞれが異なる解釈で書誌データを作成すると、同一の資料に関する書誌が多数できてしまいます。

1つの資料に対して複数の書誌が存在すると、利用者が的確に、そしてもれなく検索することが困難となります。

このようなデータベースは、信頼性が低いものとなってしまいます。

第1章 「目録情報の基準」とレコードの特性

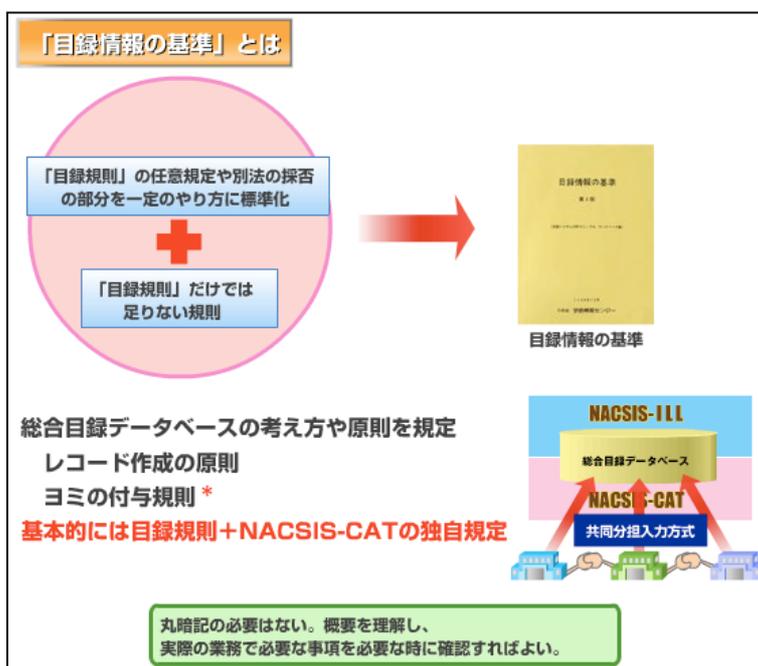


NACSIS-CATは、総合目録データベースを、全国の参加館が「オンラインによる共同分担入力方式」で効率よく作り上げていくシステムです。

そのためには、全ての担当者が共通の理解に立って目録作成を行うことが重要です。

書誌レコードの記述の方法が担当者によって違うと大変利用しにくくなります。

「利用者が求める資料を、より早く、より正確に探しだす」という目録の役割を果たすことができません。



目録規則の任意規定や別法の採否の部分や一定のやり方に標準化するとともに、目録規則だけでは足りない規則をまとめたものが「目録情報の基準」です。

「目録情報の基準」では、総合目録データベースの考え方や原則を示しています。

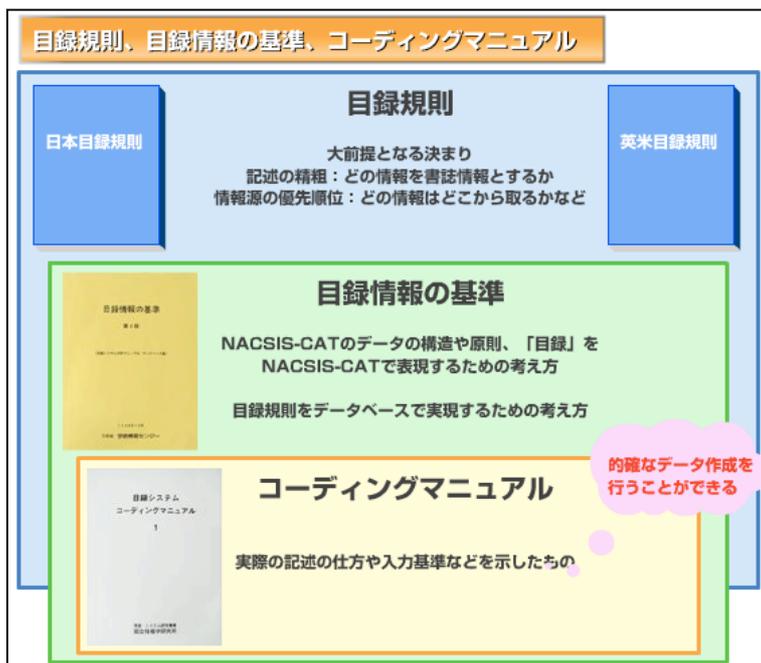
具体的には、レコード作成の原則や、ヨミの付与規則などがあります。

これらは、「日本目録規則」などでは定められていない事項で、NACSIS-CATの独自規定となっているのです。

「目録情報の基準」は丸暗記の必要はありませんが、概略を理解して、必要となった時に確認しましょう。

第1章 「目録情報の基準」とレコードの特性

2項 目録規則と「目録情報の基準」の関係



「目録情報の基準」は、目録規則を補完する役割をもつ、NACSIS-CAT 独自の規則です。この「目録情報の基準」の原則に従って、データを記述する時の具体的な事例を示したのが「コーディングマニュアル」です。記述する時に「コーディングマニュアル」を参照することで、的確なデータ作成を行うことができます。図書館目録の大原則である目録規則、総合目録データベースを構築するための補完的規則としての「目録情報の基準」、データの具体的記述方法を解説した「コーディングマニュアル」、これらの3つの役割を理解し、適宜参照できるようにしておきましょう。

2節 レコードの特性

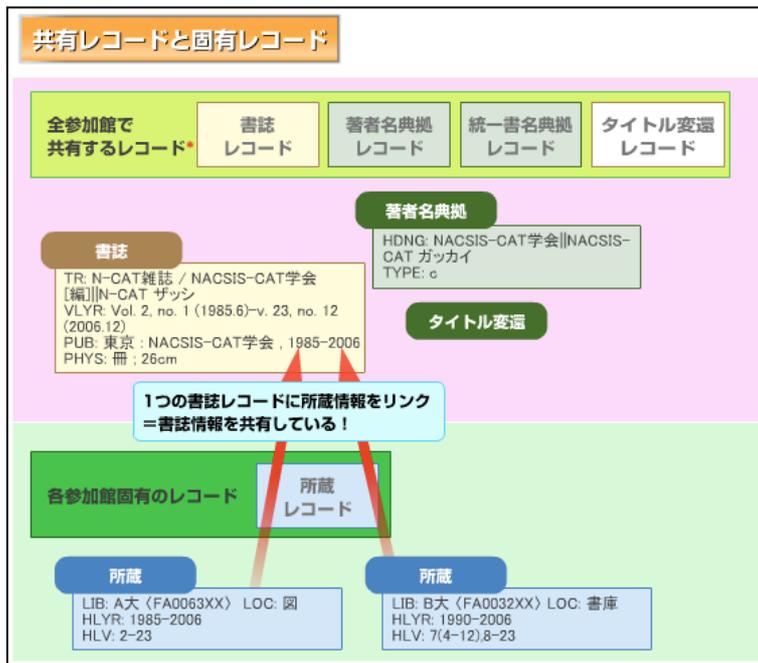
- 1項 共有データと固有データ
- 2項 共有データと固有データの扱い方
- ~~3項 タイプ~~

【学習目標】

- 1. 共有レコードと固有レコードを区別できる。
- 2. 共有レコードと固有レコードそれぞれを正しく扱うことができる。

## 第1章 「目録情報の基準」とレコードの特性

### 1項 共有データと固有データ



共有レコードは、全ての参加館が共有するレコードで、書誌レコード、典拠レコード、タイトル変遷レコードなどがあります。

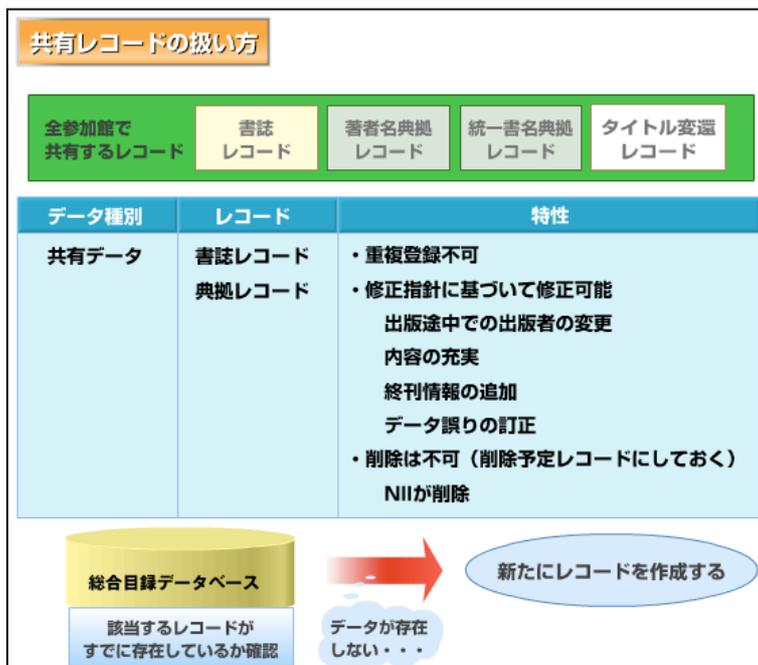
書誌レコードは、資料についての書誌情報を記録するためのレコードで、1つの資料について1つだけ作成し、全ての参加館で共有します。

典拠レコードやタイトル変遷レコードも共有の情報として使用します。

一方、所蔵レコードは各参加館の固有のレコードです。

共有レコードの場合は、登録、修正などに関して注意しなければならないところがあります。順に見ていきましょう。

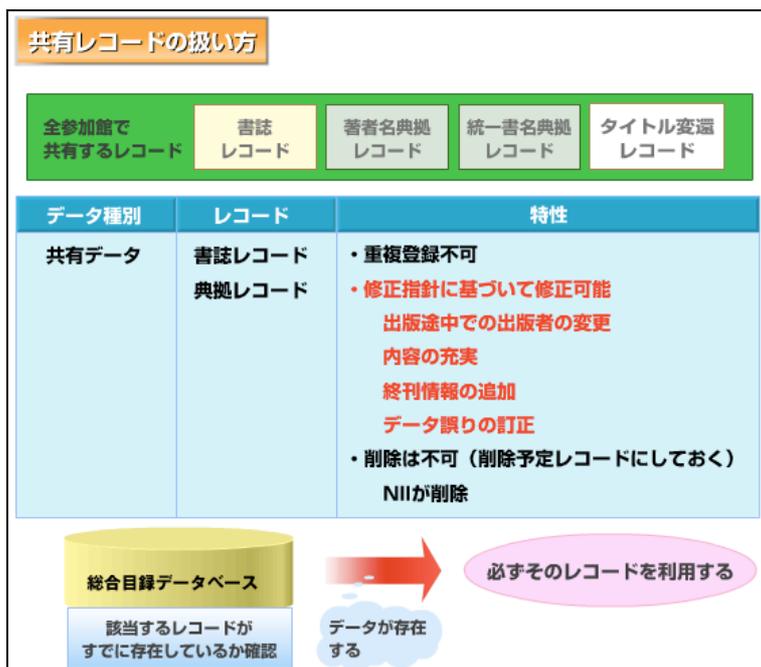
### 2項 共有データと固有データの扱い方



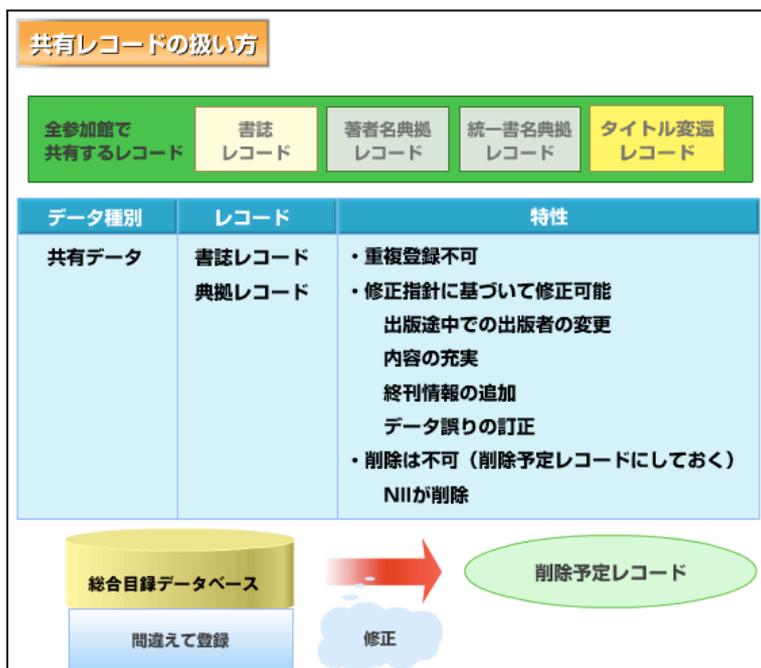
共有レコードである書誌レコード、典拠レコードを登録しようとする時には、まず該当するレコードが総合目録データベースに既に存在しているかどうかを、確認する必要があります。

その結果、該当するレコードが存在しない場合は、新たにレコードを作成します。

第1章 「目録情報の基準」とレコードの特性

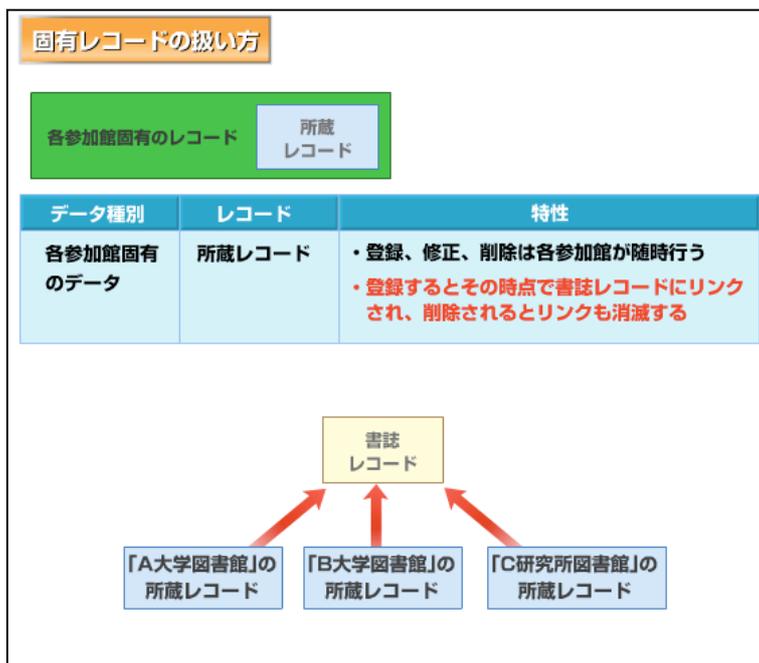


登録しようとする資料のレコードが既に存在する場合には、必ずそのレコードを利用します。新たに別のレコードを作成してはいけません。これが、重複登録不可の意味です。既に存在するレコードに対して情報の追加などが必要な場合には、修正指針に基づいて修正することができます。



しかし、レコードそのものを削除することはできません。間違えて登録したものを削除したい場合は「削除予定レコード」という内容に修正しておきます。なお、タイトル変遷レコードは、作成、修正、削除のいずれも、国立情報学研究所だけがを行います。

第1章 「目録情報の基準」とレコードの特性



各参加館固有のデータには所蔵レコードがあります。

各館独自の所蔵情報がそれぞれ登録されるので、各館の所蔵状況に応じて、登録・修正・削除が随時可能です。

所蔵レコードは、登録するとその時点で書誌レコードにリンクされ、削除すると同時にリンクが解除されます。

## 第2章 書誌レコードについて

- 1節 書誌レコードの基礎知識
- 2節 書誌レコードの作成単位

### 1節 書誌レコードの基礎知識

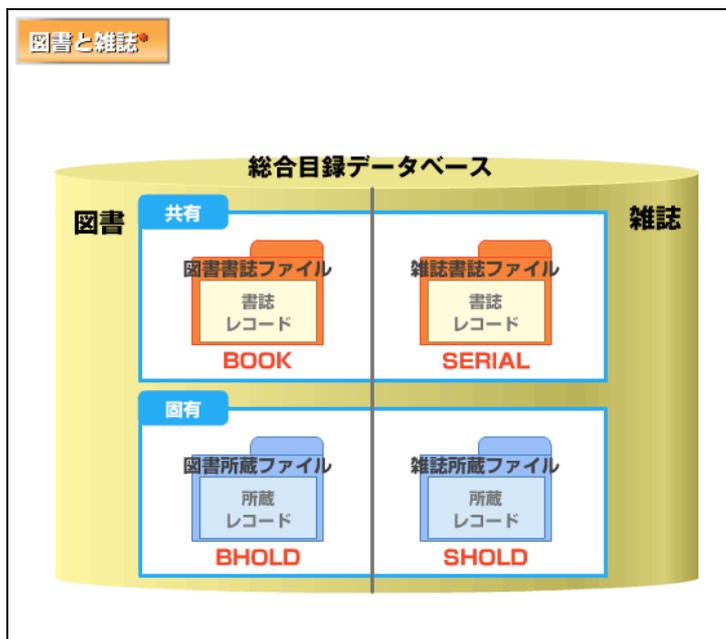
- 1項 図書と雑誌
- 2項 和資料と洋資料の扱い
- 3項 準拠する目録規則
- 4項 データベース内の書誌レコード例
- 5項 データ記述時のルール
- 6項 フィールドの分類
- ~~7項 クイズ~~

#### 【学習目標】

1. 図書と雑誌を区別できる。
2. 和資料・洋資料それぞれが準拠する目録規則を示すことができる。
3. データベース内のデータと書誌情報の関係を説明できる。
4. データ記述時の基本的なルールを説明できる。

## 第2章 書誌レコードについて

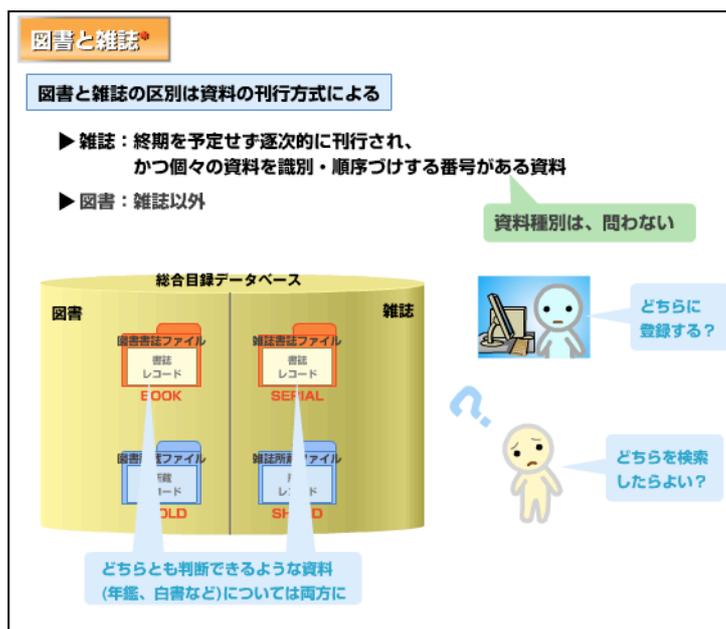
### 1項 図書と雑誌



目録の作成にあたっては、図書と雑誌で違うところがあります。

総合目録データベースでは書誌レコードを納めるためのファイルは、「図書」「雑誌」2つに分かれています。

この教材では、雑誌の「目録情報の基準」について学習していきます。まず、図書と雑誌の定義を明確にしておきましょう。



雑誌とは【終期を予定せず逐次的に刊行され、かつ個々の資料を識別・順序づけする番号がある資料】と定義されています。

印刷物あるいは CD-ROM といった資料の種別に関わらず、この条件に当てはまるものを「雑誌」として登録し、これに当てはまらない資料を「図書」として登録します。

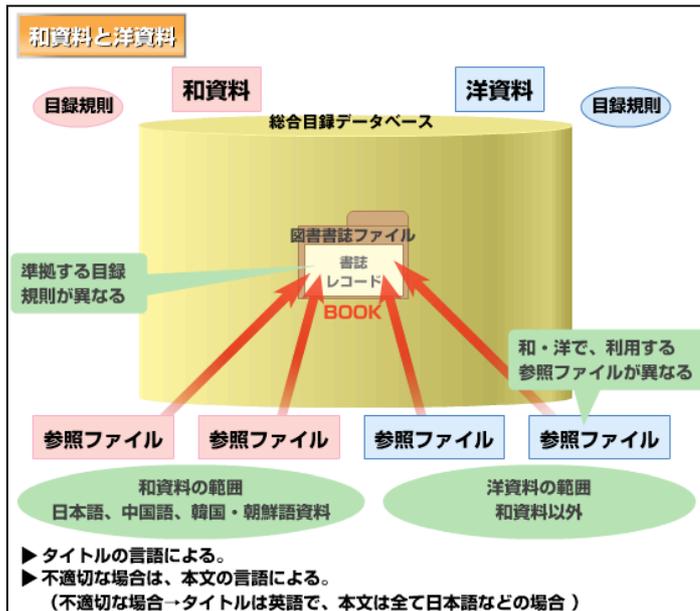
ただし、「図書」「雑誌」の区別がしにくい、どちらも判断できるような資料については両方のファイルに登録することが望ましいでしょう。

どちらのファイルを検索しても見つかるようにすれば、利用者にとって便利だからです。登録する人が迷うケースでは、検索する人も、どちらを検索するか決めにくいですね。

それでは、総合目録データベースの中心的データでもある、書誌レコードについて学習を進めていきましょう。

## 第2章 書誌レコードについて

### 2項 和資料と洋資料の扱い



資料には一般的に和資料、洋資料という区分的がありますが、総合目録データベースの中では、和洋どちらとも、雑誌書誌レコードとして同じファイル内で管理しています。

違いは、NACSIS-CAT にデータを記述する際に準拠する目録規則が異なることです。それぞれに対応する目録規則の内容をよく理解しておくことが必要です。

また、和資料と洋資料では、流用入力に用いるために用意された参照ファイルが異なります。

和資料の範囲は「日本語、中国語、韓国・朝鮮語資料」で、それ以外を洋資料としています。基本的にタイトルの言語で判断しますが、不適切な場合は本文の言語によります。

### 3項 準拠する目録規則

書誌レコードで準拠する目録規則

タイトル (本文) の言語	目録規則
日本語、中国語、韓国・朝鮮語	・日本目録規則 1987年版改訂3版 (NCR87R3)
上記以外	・英米目録規則 第2版 1988年改訂、1993年修正、2002年改訂 (AACR2R)

記述の精粗は第2レベル

詳細は「コーディングマニュアル」参照

和資料に関しては、「日本目録規則」NCRに準拠します。

洋資料が準拠する目録規則は、「英米目録規則」AACR です。

これらはまた、「コーディングマニュアル」に詳しく書かれています。

記述の精粗については第2レベルとします。

第2章 書誌レコードについて

4項 データベース内の書誌レコード例

**書誌の情報とレコードの項目**

雑誌自体が持っている情報 (情報源\*)

登録

WebUIP 書誌レコード画面

WebUIP詳細表示画面

```
<AN10099588> CRTDT:19891113 RNWDT:19950512
GMD: SMD: YEAR:1984 1988 CNTRY:ja TTL:jpj TXTL:jpj ORGL:
REPRO: PSTAT:d FREQ:a REGL:r TYPE:
ISSN:00824720 CODEN: NDLPN: LCCN: ULPN: GPON:
TR:林業試験場研究報告. 林産 / 林業試験場 [編]リンギョウ シケン
ジョウ ケンキュウ ホウコク. リンサン
VLYR:No. 330 (1984.9)-no. 352 (1988.3)
PUBL: 荻崎町 (茨城県): 林業試験場, 1984.9-1988.3
VT.BG:Bulletin of the Forestry and Forest Products Research
Institute
FID:10073500
BHNT.CF:林業試験場研究報告 / 農林省林業試験場 <AN00252102>
BHNT.CS:林業試験場研究報告. 林業・林産 / 森林総合研究所
<AN10330632>
AL:林業試験場リンギョウ シケンジョウ <DA0383758X>
```

それでは、書誌レコードの実例を見ていきましょう。

雑誌自体が持っている情報とは、表紙、標題紙、奥付、背などに書かれた情報です。

それら情報の書かれている場所を「情報源」と呼びます。情報源にはその内容によって優先順位があり、それらは目録規則で決められています。

例えば、画面のような表紙の場合、WebUIP 上で書誌レコードはこのように表示されます。

表示の方法、形式については使っている図書館システムによって異なります。いずれも、データベース内の情報を基に表示しています。

**データベース内のデータ要素**

- ◆下線部は、検索用インデクス\* (表示と兼ねているものもある)
- ◆赤枠は機械的に切り出される (生成される) データ要素
- ◆赤○印は、漢字統合インデクス\*、青○印は正規化\*

<p><u>ID = AN10099588</u>  <u>CRTDT = 19891113</u>  <u>RNWDT = 19950512</u>  <u>ISSN = 00824720</u>  PSTAT = d  YEAR1 = 1984  YEAR2 = 1988  CNTRY = ja  REQ = a  REGL = r  TTL = jpj  TXTL = jpj  TRD = 林業試験場研究報告. 林産 / 林業試験場 [編]  TRR = リンギョウ シケンジョウ ケンキュウ ホウコク. リンサン  VTK = BG  VTJ = Bulletin of the Forestry and Forest Products Research Institute  VLYR = No. 330 (1984.9)-no. 352 (1988.3)  PUBP = 荻崎町 (茨城県)  PUBL = 林業試験場  PUBDT = 1984.9-1988.3</p>	<p><u>FID = 10073500</u>  BHBID = AN00252102  BHBID = AN10330632  BHK = CF  BHK = CS  BHTR = 林業試験場研究報告 / 農林省 林業試験場  BHTR = 林業試験場研究報告. 林業・林産 / 森林総合研究所  <u>AID = DA0383758X</u>  AHDNG = 林業試験場  AHDNGR = リンギョウ シケンジョウ  <u>ISSNKEY = 00824720</u>  YEARKEY = 1984  YEARKEY = 1988  <u>AKAY = リンギョウホ</u>  AKAY = 林産  LANGKEY = jpj  TITLEKEY = リンサン  <u>TITLEKEY = リンギョウ</u>  TITLEKEY = 林産  TITLEKEY = 林業試験場研究報告  TITLEKEY = 林業  TITLEKEY = 樹秀  TITLEKEY = 報告</p>	<p>TITLEKEY = 試験場  TITLEKEY = BULLETIN  TITLEKEY = FORESTRY  TITLEKEY = PRODUCTS  TITLEKEY = FOREST  TITLEKEY = RESEARCH  TITLEKEY = INSTITUTE  TITLEKEY = ケンキュウ  TITLEKEY = ホウコク  TITLEKEY = シケンジョウ  AUTHKEY = リンギョウ  AUTHKEY = シケンジョウ  AUTHKEY = 試験場  AUTHKEY = 林業  AUTHKEY = 林業試験場  PUBPKY = 林業試験場  PUBPKY = 荻崎町  PUBPKY = 茨城県  FTITLEKEY = リンギョウシケンジョウケンキュウホウコク  FTITLEKEY = 林業試験場研究報告</p>
--	---	--

データベース内のデータ要素は、このようになっています。

この表の下線を引いたデータ要素は、検索用インデクスです。

赤い枠で囲った部分は、通常画面には現れませんが、データベース内で機械的に切り出され、検索のために用意されます。

赤○印は、漢字統合インデクスによって正規化された部分です。表示される漢字と違って、糸偏の「編」が竹冠の「篇」に変わっています。

漢字以外にも、「リンギョウ」というヨミから正規化した「リンギョウ」という検索用インデクスが生成されています。同様に、「ケンキュウ」は「ケンキョウ」に、「シケンジョウ」は「シケンジョウ」に正規化されます。

では、雑誌の情報、画面表示との関係を見てみましょう。

第2章 書誌レコードについて

**書誌の情報とデータ要素**

書誌レコードの項目→フィールド

情報源 表紙

林業試験場  
**研究報告**  
林産  
No.352

総合目録データベース

TRD = 林業試験場研究報告 林産 / 林業試験場 [編]  
TRR = リンギョウ シケンジョウ ケンキュウ ホウコク リンサン  
TRVR =

ID = AN1009588  
CRTDT = 19891113  
RNWDT = 19950512  
ISSN = 00824720  
PSTAT = d  
YEAR1 = 1984  
YEAR2 = 1988  
CNTRY = ja  
FREQ = a  
REGL = r  
TLL = jpn  
TXTL = jpn

TRD = 林業試験場研究報告 林産 / 林業試験場 [編]  
TRR = リンギョウ シケンジョウ ケンキュウ ホウコク リンサン  
VTK = BC  
VTD = Bulletin of the Forestry and Forest Products Research Institute  
VLYR = No. 330 (1984.9)-no. 352 (1988.3)  
PUBP = 彦崎町 (茨城県)  
PUBL = 林業試験場  
PUBDT = 1984.9-1988.3

ID = 10073500  
BHIBID = AN00252102  
BHIBID = AN10330832  
BHK = CF  
BHK = CS  
BHTR = 林業試験場研究報告 / 農林省 林業試験場  
BHTR = 林業試験場研究報告 林業・林産 / 森林総合研究所 林業・林産 / 森林総合研究所  
AID = DA0383758X  
AHONG = 林業試験場  
AHONGR = リンギョウ シケンジョウ  
ISSNKEY = 00824720  
YEARKEY = 1984  
YEARKEY = 1988  
TTLKEY = 林産  
AKY = リンギョウホ  
AKY = 林産  
LANGKEY = jpn  
LANGKEY = リンサン  
TITLEKEY = リンギョウ  
TITLEKEY = 林産  
TITLEKEY = 林業試験場研究報告  
TITLEKEY = 林業  
TITLEKEY = 報告  
TITLEKEY = 報告

TITLEKEY = 試験場  
TITLEKEY = BULLETIN  
TITLEKEY = FORESTRY  
TITLEKEY = PRODUCTS  
TITLEKEY = FOREST  
TITLEKEY = RESEARCH  
TITLEKEY = INSTITUTE  
TITLEKEY = ケンキュウ  
TITLEKEY = ホウコク  
TITLEKEY = シケンジョウ  
AUTHKEY = リンギョウ  
AUTHKEY = シケンジョウ  
AUTHKEY = 試験場  
AUTHKEY = 林業  
AUTHKEY = 林業試験場  
PUBKEY = 彦崎町  
PUBKEY = 茨城県  
FTITLEKEY = リンギョウケンキュウ  
ケンキュウホウコク  
FTITLEKEY = 林業試験場研究報告

**検索用インデックスとして利用**

資料の情報がデータベース内でどのように保持されているか確認しましょう。

NACSIS-CAT では、書誌レコードの項目をフィールドと呼びます。

NACSIS-CAT の登録画面では、資料の情報を各フィールドに入力します。

例えば、表紙の「タイトル及び責任表示」は、TRフィールド、WebUIPの場合はそのなかの TRD フィールドに入力します。

入力された TRD フィールドの情報から、データベースに登録される際、区切り記号によって TITLEKEY や AUTHKEY、FTITLEKEY が切り出されます。

また、WebUIPで「タイトルのヨミ」を入力する TRR フィールドからも同様に切り出されます。これらは、検索用インデックスとして利用されます。

**書誌の情報と画面表示**

情報源 表紙

林業試験場  
**研究報告**  
林産  
No.352

総合目録データベース

WebUIP詳細表示画面

TR:林業試験場研究報告 林産 / 林業試験場 [編] リンギョウ シケンジョウ ケンキュウ ホウコク リンサン

VT:BC Bulletin of the Forestry and Forest Products Research Institute  
FD:10073500  
BINT:CF 林業試験場研究報告 農林省 林業試験場 (AN00252102)  
BINT:CS 林業試験場研究報告 林業・林産 / 森林総合研究所 (AN10330832)  
AL:林業試験場 リンギョウ シケンジョウ (DA0383758X)

ID = AN1009588  
CRTDT = 19891113  
RNWDT = 19950512  
ISSN = 00824720  
PSTAT = d  
YEAR1 = 1984  
YEAR2 = 1988  
CNTRY = ja  
FREQ = a  
REGL = r  
TLL = jpn  
TXTL = jpn

TRD = 林業試験場研究報告 林産 / 林業試験場 [編]  
TRR = リンギョウ シケンジョウ ケンキュウ ホウコク リンサン  
VTK = BC  
VTD = Bulletin of the Forestry and Forest Products Research Institute  
VLYR = No. 330 (1984.9)-no. 352 (1988.3)  
PUBP = 彦崎町 (茨城県)  
PUBL = 林業試験場  
PUBDT = 1984.9-1988.3

ID = 10073500  
BHIBID = AN00252102  
BHIBID = AN10330832  
BHK = CF  
BHK = CS  
BHTR = 林業試験場研究報告 / 農林省 林業試験場  
BHTR = 林業試験場研究報告 林業・林産 / 森林総合研究所 林業・林産 / 森林総合研究所  
AID = DA0383758X  
AHONG = 林業試験場  
AHONGR = リンギョウ シケンジョウ  
ISSNKEY = 00824720  
YEARKEY = 1984  
YEARKEY = 1988  
TTLKEY = 林産  
AKY = リンギョウホ  
AKY = 林産  
LANGKEY = jpn  
LANGKEY = リンサン  
TITLEKEY = リンギョウ  
TITLEKEY = 林産  
TITLEKEY = 林業試験場研究報告  
TITLEKEY = 林業  
TITLEKEY = 報告  
TITLEKEY = 報告

TITLEKEY = 試験場  
TITLEKEY = BULLETIN  
TITLEKEY = FORESTRY  
TITLEKEY = PRODUCTS  
TITLEKEY = FOREST  
TITLEKEY = RESEARCH  
TITLEKEY = INSTITUTE  
TITLEKEY = ケンキュウ  
TITLEKEY = ホウコク  
TITLEKEY = シケンジョウ  
AUTHKEY = リンギョウ  
AUTHKEY = シケンジョウ  
AUTHKEY = 試験場  
AUTHKEY = 林業  
AUTHKEY = 林業試験場  
PUBKEY = 彦崎町  
PUBKEY = 茨城県  
FTITLEKEY = リンギョウケンキュウ  
ケンキュウホウコク  
FTITLEKEY = 林業試験場研究報告

このように保持されているデータベース内のデータを WebUIP 詳細表示画面で表示させると、このようになります。

データベース内の TRD、TRR の 2 つのフィールドのデータは、WebUIP 詳細表示画面上では 1 つの TR フィールド内に区切り記号を挟み、連結して表示されます。

第2章 書誌レコードについて

WebUI詳細表示画面

情報源 表紙

研究報告

発行  
茨城県那珂市那珂中央1  
林業試験場

1988.3

総合目録データベース

WebUI詳細表示画面

GAN1009588> CRTDT19881113 RRDWT19850512  
GMD SMD YEAR1984 1988 CTRYja TTLJpn TXTLJpn ORGL  
REPRO: PSTATd FREQa REGLa TYPE:  
ISSN0082472D CODEN NOLNPL LOCN ULPN GPON  
TR林業試験場研究報告 林産 林業試験場(編)リンギョウ シヤンジョウ  
ケンキョウ ホウコク リンザン  
VLYRNo. 330 (1984.9-no. 352 (1988.3))  
PUB 茨城町(茨城県) 林業試験場 1984.9-1988.3  
VTD Bulletin of the Forestry and Forest Products Research Institute  
FD10073600  
SHNT OF 林業試験場研究報告 / 豊林省林業試験場 (AN0025210D)  
SHNT CGS 林業試験場研究報告 林業・林産 / 森研総合研究所  
GAN1033063D  
AL 林業試験場(リンギョウ シヤンジョウ) (DA083758X)

ID = AN1009588	FIID = 10073500	TITLEKEY = 試験場
CRTDT = 19881113	SH-BID = AN0025102	TITLEKEY = BULLETIN
RRDWT = 19850512	SH-BID = AN1033063D	TITLEKEY = FORESTRY
ISSN = 0082472D	SHK = OF	TITLEKEY = PRODUCTS
PSTAT = d	SHK = CS	TITLEKEY = FOREST
YEAR1 = 1984	SHTR = 林業試験場研究報告 / 豊林省	TITLEKEY = RESEARCH
YEAR2 = 1988	SHTR = 林業試験場研究報告 林業・林産 / 森研総合研究所	TITLEKEY = INSTITUTE
CNTRY = ja	AID = DA083758X	TITLEKEY = シヤンジョウ
FREQ = a	AHDNG = 林業試験場	TITLEKEY = ホウコク
REGL = r	AHDNGR = リンギョウ シヤンジョウ	TITLEKEY = シヤンジョウ
TTLJ = Jpn	ISSNKEY = 0082472D	TITLEKEY = 試験場
TXTL = Jpn	YEARKEY = 1984	TITLEKEY = 林業
TRD = 林業試験場研究報告 林産 / 林業試験場(編)	YEARKEY = 1988	TITLEKEY = 林業試験場研究報告
TRR = リンギョウ シヤンジョウ	AKKEY = 林産	TITLEKEY = 林業
TRR = ケンキョウ ホウコク リンザン	LANGKEY = Jpn	TITLEKEY = 林業
VTK = BC	TITLEKEY = リンギョウ	TITLEKEY = 林業
VTD = Bulletin of the Forestry and Forest Products Research Institute	TITLEKEY = 林産	TITLEKEY = 林業
VLYR = No. 330 (1984.9-no. 352 (1988.3))	TITLEKEY = 林業試験場研究報告	TITLEKEY = 林業
PUBP = 茨城町(茨城県)	TITLEKEY = 林業	TITLEKEY = 林業
PUBL = 林業試験場	TITLEKEY = 林業	TITLEKEY = 林業
PUBDT = 1984.9-1988.3	TITLEKEY = 報告	TITLEKEY = 報告

同様に出版事項も見てみましょう。この例では、表紙、奥付に出版者、出版年などが書かれています。

WebUI 詳細表示画面では PUB フィールドに入っている出版地、出版者、出版年は、データベースの中では PUBP、PUBL、 PUBDT のデータ要素に分かれ、PUBPKEY、 PUBLKEY が切り出されています。

例えば、出版者で検索する場合は、この PUBLKEY のデータが照合されることになります。

WebUI詳細表示画面

情報源 表紙

研究報告

発行  
茨城県那珂市那珂中央1  
林業試験場

1988.3

総合目録データベース

WebUI詳細表示画面

GAN1009588> CRTDT19881113 RRDWT19850512  
GMD SMD YEAR1984 1988 CTRYja TTLJpn TXTLJpn ORGL  
REPRO: PSTATd FREQa REGLa TYPE:  
ISSN0082472D CODEN NOLNPL LOCN ULPN GPON  
TR林業試験場研究報告 林産 林業試験場(編)リンギョウ シヤンジョウ  
ケンキョウ ホウコク リンザン  
VLYRNo. 330 (1984.9-no. 352 (1988.3))  
PUB 茨城町(茨城県) 林業試験場 1984.9-1988.3  
VTD Bulletin of the Forestry and Forest Products Research Institute  
FD10073600  
SHNT OF 林業試験場研究報告 / 豊林省林業試験場 (AN0025210D)  
SHNT CGS 林業試験場研究報告 林業・林産 / 森研総合研究所  
GAN1033063D  
AL 林業試験場(リンギョウ シヤンジョウ) (DA083758X)

ID = AN1009588	FIID = 10073500	TITLEKEY = 試験場
CRTDT = 19881113	SH-BID = AN0025102	TITLEKEY = BULLETIN
RRDWT = 19850512	SH-BID = AN1033063D	TITLEKEY = FORESTRY
ISSN = 0082472D	SHK = OF	TITLEKEY = PRODUCTS
PSTAT = d	SHK = CS	TITLEKEY = FOREST
YEAR1 = 1984	SHTR = 林業試験場研究報告 / 豊林省	TITLEKEY = RESEARCH
YEAR2 = 1988	SHTR = 林業試験場研究報告 林業・林産 / 森研総合研究所	TITLEKEY = INSTITUTE
CNTRY = ja	AID = DA083758X	TITLEKEY = シヤンジョウ
FREQ = a	AHDNG = 林業試験場	TITLEKEY = ホウコク
REGL = r	AHDNGR = リンギョウ シヤンジョウ	TITLEKEY = シヤンジョウ
TTLJ = Jpn	ISSNKEY = 0082472D	TITLEKEY = 試験場
TXTL = Jpn	YEARKEY = 1984	TITLEKEY = 林業
TRD = 林業試験場研究報告 林産 / 林業試験場(編)	YEARKEY = 1988	TITLEKEY = 林業試験場研究報告
TRR = リンギョウ シヤンジョウ	AKKEY = 林産	TITLEKEY = 林業
TRR = ケンキョウ ホウコク リンザン	LANGKEY = Jpn	TITLEKEY = 林業
VTK = BC	TITLEKEY = リンギョウ	TITLEKEY = 林業
VTD = Bulletin of the Forestry and Forest Products Research Institute	TITLEKEY = 林産	TITLEKEY = 林業
VLYR = No. 330 (1984.9-no. 352 (1988.3))	TITLEKEY = 林業試験場研究報告	TITLEKEY = 林業
PUBP = 茨城町(茨城県)	TITLEKEY = 林業	TITLEKEY = 林業
PUBL = 林業試験場	TITLEKEY = 林業	TITLEKEY = 林業
PUBDT = 1984.9-1988.3	TITLEKEY = 報告	TITLEKEY = 報告

著者名で検索をする場合、AUTHKEY がインデックスのデータですが、AUTHKEY は TR フィールドから切り出されるだけでなく、AL フィールドのデータ要素 AHDNG、 AHDNGR からも作成されます。

これによって、著者名のヨミからも検索が可能となります。

第2章 書誌レコードについて

5項 データ記述時のルール

**データの記述**

TRD: 林業試験場研究報告 林産 / 林業試験場  
 TRR: リンギョウ シケンジョウ ケンキョウ ホウコク, リンサン  
 TRVR:

区切り記号を誤った場合  
 正確に切り出されない

総合目録データベース

ID = AN10098588	FD = 10073500	TITLEKEY = 林産
CRDT = 19891113	BHID = AN00252102	TITLEKEY = 林業試験場
RNMDT = 19890512	BHID = AN10330622	TITLEKEY = 研究
ISSN = 00824720	BHK = CF	TITLEKEY = 報告
PSTAT = d	BHK = CS	TITLEKEY = 報告
YEAR1 = 1984	BHTR = 林業試験場研究報告 / 農林省	TITLEKEY = 報告
YEAR2 = 1985	林業試験場	TITLEKEY = 報告
CNTRY = ja	BHTR = 林業試験場研究報告, 林業・林産 / 農林省	TITLEKEY = 報告
FREQ = a	森 / 森総合研究所	TITLEKEY = 報告
REGL = r	AID = DA0382758X	TITLEKEY = 報告
TTL = jpn	ANDNGR = 林業試験場	TITLEKEY = 報告
TRD = 林業試験場研究報告 林産 / 林業試験場 [編]	ANDNGR = リンギョウ シケンジョウ	TITLEKEY = 報告
TRR = リンギョウ シケンジョウ	SSNKEY = 00824720	TITLEKEY = 報告
ケンキョウ ホウコク, リンサン	YEARKEY = 1984	TITLEKEY = 報告
VTK = BC	YEARKEY = 1985	TITLEKEY = 報告
VTD = Bulletin of the Forestry and Forest Products Research Institute	AKEY = リンギョウ	TITLEKEY = 報告
Forest Products Research Institute	LANGKEY = jpn	TITLEKEY = 報告
VLNR = No. 330 (1984.8)-no. 352 (1988.3)	TITLEKEY = リンサン	TITLEKEY = 報告
PUBP = 豊崎町 (茨城県)	TITLEKEY = リンギョウ	TITLEKEY = 報告
PUBL = 林業試験場	TITLEKEY = 林業試験場研究報告	TITLEKEY = 報告
PUBDT = 1984.8-1988.3	TITLEKEY = 林業	TITLEKEY = 報告
	TITLEKEY = 研究	TITLEKEY = 報告
	TITLEKEY = 報告	TITLEKEY = 報告

区切り記号\*は、基本的にISBD(国際標準書誌記述)に準ずる。  
 区切り記号の使い方を示したもの⇒ 記述文法\*

このように、WebUIP 登録画面で入力された情報は、データベース内で検索用インデクスとして機械的に切り出され、正確な検索結果を得るために役立っています。

よって、データ登録時に入力する区切り記号を誤った場合には、検索用インデクスが正確に切り出されないのです。

図書館システムの仕様によって、データ入力の方法は異なりますが、区切り記号については、基本的にNACIS-CATはISBD(国際標準書誌記述)に準じています。

この区切り記号の使い方を示したのが「記述文法」です。

それでは、「記述文法」について、詳しく学習していきましょう。

**記述文法の見方**

◆丸く囲んだ部分は、データ要素及びISBDの区切り記号を示す。  
 ◆左から右へ、線をたどって記述する。

上記例では、

- ・A及びCは、必ず記述する。
- ・A及びCは、複数回繰り返して記述することが可能である。
- ・Bは記述しないことも可能である。
- ・Cを繰り返す場合は、CとCの間にDを記述する必要がある。

データ記述文法の見方を説明しましょう。

記述文法は、基本的にはこれら3つ、A、B、C及びDの組み合わせで表されます。

これら3つを連続して記述した場合を例として具体的に説明しましょう。記述は、線に沿って左端から右に進めます。丸い記号はデータ要素及び区切り記号を表します。

まず、Aは必ず通りますので、Aを記述します。

Aを記述した後、上の曲線を通って、Aを繰り返すことができます。

更に右に進み、Bは通ることもできますが、記述しないで先に進むこともできます。

CはAと同じく、必ず記述しますが、繰り返す場合は、CとCの間に、区切り記号Dを記述する必要があります。

第2章 書誌レコードについて

**記述文法の例**

(例) München ; Zürich : Delphin Verlag , 1981-1982  
 (例) 東京 ; 京都 : 法律文化社

△の記号は、半角スペースを示す。

詳細は「コーディングマニュアル」に定められている。  
 実際に記述する際に参照のこと。

例えば出版事項の記述文法で、複数の出版地がある場合、どのように記述するか見てみましょう。

出版事項には、出版地、出版者、出版年などがあります。

出版地は必ず記述します。出版地を通った所で道が2つに分かれ、もし、2つ目の出版地を記述する場合は、△; △を挟んで繰り返します。

出版者も必ず記述しますが、その前に△:△を入れます。

出版年は△, △を置いて記述します。出版年は記述できない場合、回避することもできます。

**記述文法の原則**

ISBD(国際標準書誌記述) 区切り記号法に準拠

◇主な相違点は下記の3点(下線部分)

1) TRにおいて責任表示のみが並列する場合  
 本タイトル△:△タイトル関連情報△/△責任表示△=△/△並列責任表示

2) 総合タイトルがない(個々のタイトルの著者が異なる)場合  
 タイトル△:△タイトル関連情報△/△責任表示△△:△タイトル△:△タイトル関連情報△/△責任表示

3) 出版者と出版年の区切り  
 出版地△:△出版者△,△出版年

△の記号は、半角スペースを示す。

他のフィールドのデータ記述文法も、「コーディングマニュアル」に書かれています。

基本的に国際標準である ISBD に準拠しています。

ISBD と異なるのは、ここに挙げた3カ所の△の使い方に関してです。

1) TR において責任表示のみが並列する場合、並列責任表示の前は△=△/△とします。

2) 個々のタイトルの著者が異なり、総合タイトルがない場合、タイトルの繰り返しの前の区切り記号は「.」だけでなく、△. △です。

3) 出版者と出版年の区切りは「,」だけでなく△, △とします。

## 第2章 書誌レコードについて

### 6項 フィールドの分類

**雑誌書誌レコードのフィールド**

**1 ID&コードブロック** WebUIP詳細表示画面

**2 記述ブロック**

**3 変遷ブロック**

**4 リンクブロック**

**5 主題ブロック**

※CATP上の定義

```
<AN10099588> CRTDT:19891113 RNWDT:19950512
GMD: SMD: YEAR:1984 1988 CNTRY:ja TTLL:jpn TXTL:jpn ORGL:
REPRO: PSTAT:d FREQ:a REGL:r TYPE:
ISSN:00824720 CODEN: NDLPN: LCCN: ULPN: GPON:
TR:林業試験場研究報告. 林産 / 林業試験場 [編]リンギョウシ
ケンジョウ ケンキョウ ホウコク. リンサン
VLYR:No. 330 (1984.9)-no. 352 (1988.3)
PUB:釜崎町 (茨城県) : 林業試験場. 1984.9-1988.3
VT:BC:Bulletin of the Forestry and Forest Products Research
Institute
FID:10073500
BHNT:CF:林業試験場研究報告 / 農林省林業試験場 <AN00252102>
BHNT:CS:林業試験場研究報告. 林業・林産 / 森林総合研究所
<AN10330632>
AL:林業試験場||リンギョウ シケンジョウ <DA0383758X>
SH:NDLSH: 林業試験場||リンギョウシケンジョウ//K
SH:NDLSH: 林業試験||リンギョウシケン//K
```

CAT/ILLシステムプロトコル

それでは、雑誌書誌レコードに含まれる項目を順に見ていきましょう。

雑誌書誌レコードのフィールドは、5種類のブロックに分けることができます。

ID&コードブロック、記述ブロック、変遷ブロック、リンクブロック、主題ブロックです。

フィールド名の表記方法やレイアウトは、図書館システムによって異なります。ここにあげるのは、CATP 上での定義です。

**ID&コードブロック\***

**書誌レコードIDとコードに関するフィールド**

書誌レコードを他の書誌レコードと一意に識別するための番号で、機械的に付与される

コード類は原則として、USMARCフォーマットのコード体系に準拠する。

↓

「コーディングマニュアル」付録1参照\*

フィールド名	説明
ID	書誌レコードID
CRTDT	レコード作成日付
RNWDT	最終レコード更新日付
GMD	一般資料種別コード
SMD	特定資料種別コード
(YEAR)	刊年
CNTRY	出版国コード
TTLL	本タイトルの言語コード
TXTL	本文の言語コード
ORGL	原本の言語コード
REPRO	複製コード
PSTAT	出版状況コード
FREQ	刊行頻度コード
REGL	定期性コード
TYPE	逐次刊行物のタイプコード
ISSN	国際標準逐次刊行物番号
XISSN	取消 / 無効ISSN
NDLPN	NDL雑誌番号
LCCN	LC管理番号
CODEN	CODEN
ULPN	ULP番号
GPON	GPO番号

「ID&コードブロック」はこの表に示したフィールドです。

ある書誌レコードを他の書誌レコードと区別する、つまり、一意に識別するための書誌レコード ID や、レコード作成や更新についての日付などは機械的に付与されます。

GMD、SMD といった資料種別コード、刊年 YEAR、出版国コード CNTRY、本タイトルの言語コード TTLL、本文の言語コード TXTL、刊行頻度など雑誌特有のコード類、ISSN、CODEN などの標準番号を収録しています。

コード類は原則として、USMARC フォーマットのコード体系に準拠しています。

言語コードなどのコード表は「コーディングマニュアル」の付録1に記載されています。

第2章 書誌レコードについて

**記述ブロック\***

**記述に関するフィールド**  
各フィールドのデータは、ISBD区切り記号法に準拠して記述する

フィールド名	説明
(TR)	タイトル及び責任表示に関する事項
ED	版に関する事項
VLYR	巻次・年月次
(PUB)	出版・頒布等に関する事項
(PHYS)	形態に関する事項
(VT)	その他のタイトル
NOTE	注記
PRICE	価格/入手条件
IDENT	アクセス先に関する事項

表の中で、( )付きはグループフィールド  
実際には複数のフィールドから構成される。  
(TR) は、TRD、TRR等を含む  
TRD：タイトルおよび責任表示  
TRR：タイトルのヨミ

記述ブロックには、書誌的記述に関する情報を収録しています。

具体的には、タイトル及び責任表示を入れる TR フィールド、版 ED、巻次・年月次 VLYR、出版事項 PUB、注記 NOTE などがあります。

なお、( )付きのフィールドはグループフィールドであり、さらに複数のフィールドで構成するものとなっています。

例えば TR は、タイトル及び責任表示の表記形 TRD と、そのヨミ TRR からなっています。

**変遷ブロック\***

**変遷に関するフィールド**  
国立情報学研究所のみが記録する。

フィールド名	説明
FID (BHNT)	変遷ファミリーID 変遷注記

**リンクブロック\***

**リンクに関するフィールド**  
他のレコードとのリンク付けに使用する。

フィールド名	説明
(AL)	著者名リンク

ただし、ALにおいてリンク形成を行わない場合、これらの項目は統一標目形を記録するために使用する。

変遷ブロックは、一連のタイトル変遷を管理する変遷ファミリーID が入る FID と、変遷前後の書誌情報を記録される変遷注記 BHNT です。

参加館の報告に基づいて、国立情報学研究所のみが記録します。

リンクブロックには、他のレコードとのリンク付けに関する情報を収録しています。

著者名典拠レコードとのリンクを形成する著者名リンク AL をここに収録します。

ただし、リンク形成を行わない場合、AL は、著者の統一標目形を記録するために使用します。

## 第2章 書誌レコードについて

**主題ブロック\***

**主題に関するフィールド**  
標準的な件名等を記録する。

フィールド名	説明
(SH)	件名等

主題ブロックには、主題を統制された言葉で表す件名 SH が入ります。どの件名標目表によるものかを種類コードと共に、ここに記述します。

### 2節 書誌レコードの作成単位

- 1項 基本の考え方
- 2項 タイトル変遷
- 3項 基準とする号
- 4項 補足（書誌レコード作成・修正、変遷の報告）
- ~~5項 タイズ~~

#### 【学習目標】

1. 基本的な書誌レコード作成単位を判断できる。
2. タイトル変遷をNACSIS-CATではどのように表現されるか理解する。
3. 書誌レコード作成の際に基準とする号を判断できる。

## 第2章 書誌レコードについて

### 1 項 基本の考え方

**書誌レコードの作成単位\***

雑誌・・・同じタイトルの下に、終期を予定せず、逐次的に、番号付けをもって刊行される資料

それぞれの書誌レコードを作成?

ここでは、どのような単位で雑誌書誌レコードを作成するかについて説明します。

NACSIS-CAT では、「同じタイトルの下に、終期を予定せず、逐次的に、番号付けをもって刊行される資料」を「雑誌」と呼んでいます。

図書資料の場合、基本的に1冊ごとに1つの書誌レコードを作成しますが、雑誌の場合はどうでしょうか。

たとえば、「NII Journal」という雑誌のNo. 1とNo. 2がある場合、それぞれ別の書誌レコードを作成するのでしょうか？そうではありません。

**書誌レコードの作成単位\***

雑誌・・・同じタイトルの下に、終期を予定せず、逐次的に、番号付けをもって刊行される資料

初号

終号または最新号

継続して刊行される雑誌全体

1つの書誌レコード単位

同じタイトルの下に刊行されている、初号から終号または最新号までの継続して刊行される雑誌全体を、1つの書誌レコード単位とします。これを逐次刊行物書誌単位といいます。詳しく見ていきましょう。

第2章 書誌レコードについて

**書誌レコードの作成単位\***

雑誌全体で1書誌レコードを作成

ただし、現実にはいろいろなケースがあります。

以下の場合、別の書誌レコードにします。

1. 本タイトル、従属タイトル(部編名)が異なる
2. タイトルが総称的で、責任表示が異なる
3. 資料種別が異なる
4. 版表示が異なる
5. 原本と複製資料
6. 独自の番号付けを持つ付録・補遺資料
7. 並行して異なる出版者から出版されたもの
8. 合冊誌・合刻複製版に収録されている各逐次刊行物

“終期を予定せず逐次的に刊行される”性質を持つ雑誌書誌レコードでは、原則として、その雑誌全体を、1つのレコード単位とします。

しかし、刊行途中でタイトルが変わったら、どうでしょう？また、内容が同じであれば、資料の形態が違っていても同じ書誌になるのでしょうか。

現実にはいろいろなケースがあり、このような場合には別の書誌レコードを作成するということが決められています。

それぞれの具体的な内容を学習していきましょう。

**本タイトル、従属タイトルが異なる**

継続刊行途中でのタイトル変更 = **タイトル変遷\***

**タイトル変遷基準\*** → **軽微な変化** / **重要な変化** → **コーディングマニュアルを参照**

いさはや市政概要 → いさはや市政概況

原子力発電所より排出される温排水調査の結果について → 原子力発電所から排出される温排水調査の結果について

県民所得推計結果報告書 → 県民所得推定報告書

Yearbook → Year-book

ははのくに → 母のくに

軽微? 重要?

GBB → G.B.B.

Annual report of transport economy → Annual report on the transport economy

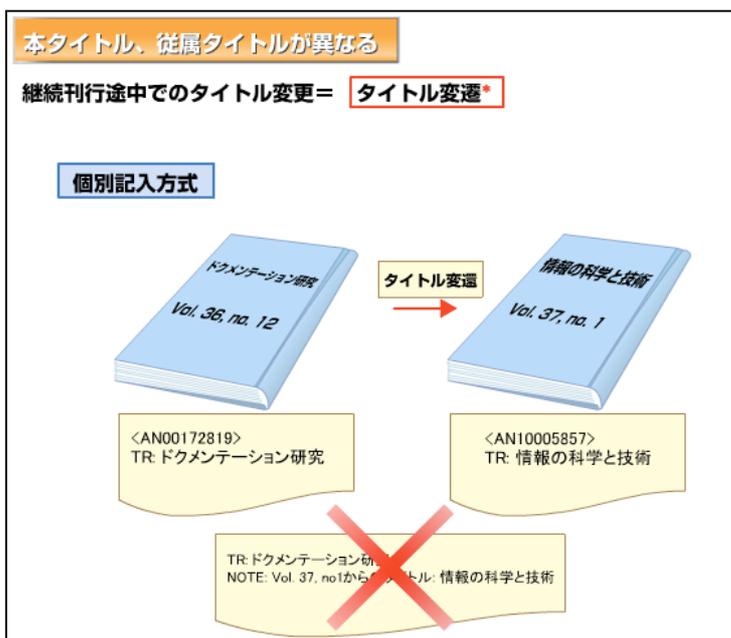
雑誌は継続刊行されている途中で、タイトルが変わる場合があります。このことを、タイトル変遷といいます。

タイトル変遷したかどうかを判断する上でのポイントとなるのが、「軽微な変化」か「重要な変化」かです。

軽微な変化と判断される場合は、タイトル変遷とはなりません。重要な変化の場合は、タイトル変遷となります。

これらの判断基準や、迷った時の考え方などについては、コーディングマニュアルに詳しく決められていますので、参照してください。

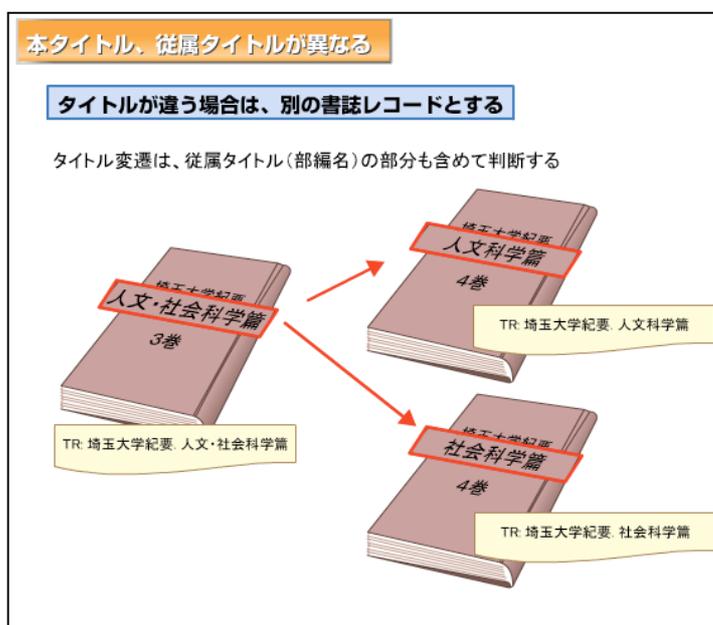
第2章 書誌レコードについて



NACSIS-CAT では、個別記入方式といって、タイトルが変更になった時点で、新たに別の書誌レコードを作成します。

例えば、「ドキュメンテーション研究」という雑誌があります。刊行途中でタイトルが「情報の科学と技術」に変更になりました。この場合、タイトルが変わった時点で、「ドキュメンテーション研究」は終期を迎え、新たに「情報の科学と技術」という別の雑誌が始まったことになり、変更前と後で、それぞれ1つの書誌レコードを作成します。

合わせて1つの書誌レコードに変遷前後の書誌情報を記録する方法はとりません。



1つのタイトルが、いくつかの部編に分かれて出版される場合、タイトル変遷は、従属タイトルも含めて考えます。

例えば、「埼玉大学紀要. 人文・社会科学篇」という雑誌が人文科学篇と社会科学篇に分かれた場合も、タイトル変遷と判断し、それぞれの書誌レコードを作成します。

これらタイトル変遷については、2項で説明します。

第2章 書誌レコードについて

**タイトルが総称的で、責任表示が異なる**

タイトルが出版物の種類または刊行頻度を表す語のみで構成 = **総称的タイトル\***

**総称的タイトル\*では、責任表示が非常に重要**

雑誌には、年報、紀要、研究報告、会報といったタイトルのものがあります。

これら、出版物の種類または刊行頻度を表す語のみで構成されているタイトルを、「総称的タイトル」と呼びます。

総称的タイトルには、このようなものがあります。

これらの総称的タイトルの場合、タイトルだけでは他の資料との区別が困難なため、編者などの責任表示とあわせて、資料を特定することが必要です。

このように、総称的タイトルの場合は、責任表示が非常に重要です。

**タイトルが総称的で、責任表示が異なる**

総称的タイトルで責任表示が違う場合は、別の書誌レコードとする

TR: 研究報告集 / 科学技術庁 金属材料技術研究所 [編]

TR: 研究報告集 / 文部科学省 金属材料技術研究所 [編]

よって、総称的タイトルの場合だけは、責任表示までみてタイトル変遷を判断します。

例えば、金属材料技術研究所が刊行する研究報告集があります。途中で改組・改称により、文部科学省金属材料技術研究所となりました。「研究報告集」というタイトル自体に変更はありませんが、責任表示である機関名が変わったため、改称前後それぞれで別書誌レコードを作成します。

一般的に責任表示が変わっただけではタイトル変遷とは扱いませんが、総称的タイトルの場合においては、責任表示までを見てタイトル変遷を判断します。

第2章 書誌レコードについて

**資料種別が異なる**

資料種別が異なる場合は、別の書誌レコードとする  
 たとえば、紙媒体と、CD-ROMとが存在するときは、それぞれ別の書誌レコードを作成する

The diagram illustrates two separate book records. On the left is a blue rectangular block representing a paper document, labeled '紙'. Below it is a yellow callout box containing the text: 'GMD: TR: 科学技術文献速報. 化学・化学工業編'. On the right is a yellow circular disc representing a CD-ROM, labeled 'CD-ROM'. Below it is a yellow callout box containing the text: 'GMD: w TR: 科学技術文献速報. 化学・化学工業編'.

CD-ROM、マイクロフィルムなどは、記録された媒体が何かを書誌レコードの GMD, SMD という資料種別フィールドに記録しますが、この資料種別が異なれば別書誌レコードを作成します。例えば、印刷物の雑誌と同じものが、CD-ROM でも存在するときは、それぞれ別の書誌レコードを作成します。

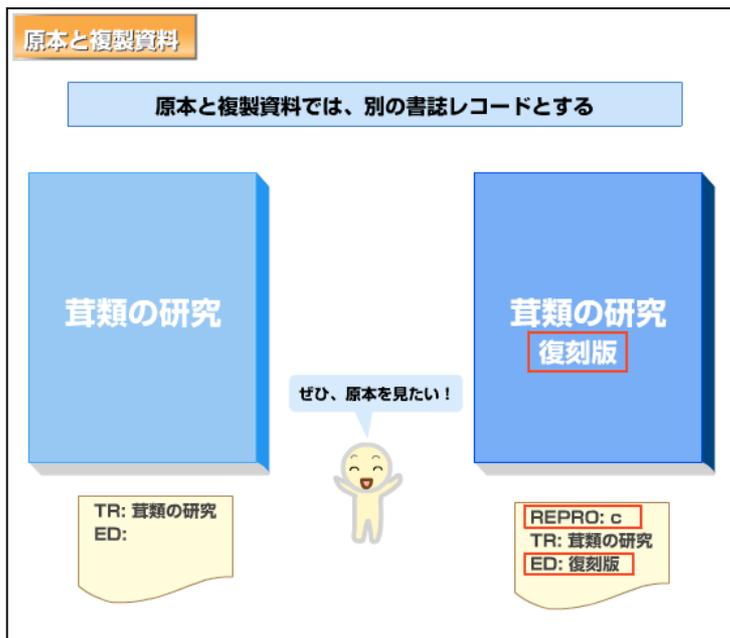
**版表示が異なる**

版が違う場合は、別の書誌レコードとする

The diagram shows three editions of the magazine 'TIME'. Each is represented by a book icon with its title 'TIME' on the cover. Below each icon is a label for the edition: '(Domestic edition)', 'Asia edition', and 'Australia edition'. Underneath each label is a yellow callout box for the MARC fields: 'TR: Time' and 'ED: [Edition Name]'. The 'ED' field is highlighted with a red border in each case.

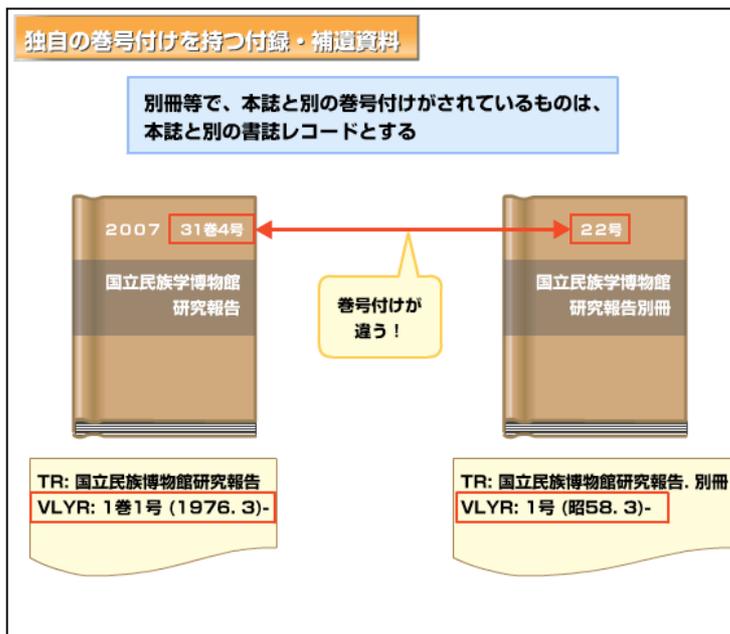
雑誌の場合、図書のように内容を改訂して新たな版として出版するようなことはまれですが、地域・言語によって版が異なるものがあります。例えば、「Time」にはアメリカで発行されたものの他に Asia 版、Australia 版といった各地の版があります。この場合は、それぞれの版表示ごとに別の書誌レコードを作成します。新聞も逐次刊行物の一種であり、地方版はそれぞれ別の書誌レコードとなります。

第2章 書誌レコードについて



原本とその複製資料についても、別の書誌レコードを作成します。

例えば、複製版として新たに出版された場合などです。内容は同じかもしれませんが、原本を確認したいというより専門的な利用者のニーズにもこたえなければならないからです。



別冊等で、本誌と別の巻号付けがされているものは、本誌とは別の書誌レコードを作成します。

雑誌は一連の番号付けで1冊ごとの資料を特定しますので、付録・補遺資料であっても、巻号の付け方が違っていると、所蔵情報を適切に管理することができません。

この例では、装丁は同じですが、本誌と別冊とで、巻号の付け方が違いますので、それぞれ別の書誌レコードを作成します。

第2章 書誌レコードについて

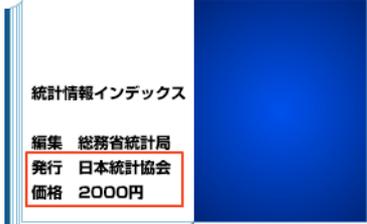
**並行して異なる出版者から出版されたもの**

同時期に並行して異なる出版者から出版されたものは、別書誌とする



統計情報  
インデックス  
2006  
総務省統計局編

TR: 統計情報インデックス  
ED: [公文書版]  
PUB: 東京: 総務庁統計局



統計情報インデックス  
編集 総務省統計局  
発行 日本統計協会  
価格 2000円

TR: 統計情報インデックス  
ED: [市販本版]  
PUB: 東京: 日本統計協会

同時期に並行して異なる出版者から出版される場合も別書誌レコードを作成します。

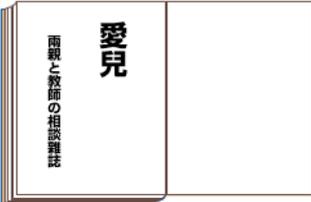
例えば、官庁刊行物等で、無料で配布されるものと、市販されるものと、並行して出版される場合がありますが、それぞれに別書誌レコードを作成し、版表示 ED に、[公文書版]、[市販本版]と補記することで両者を区別します。雑誌書誌レコードでは、刊行途中で出版者が変わった場合には別書誌とはなりません、この例では、最初から複数の出版者から刊行されていますので、それぞれが書誌作成単位となります。

**合冊誌・合刻複製版に収録されている各逐次刊行物**

・復刻された雑誌は、原誌の単位で書誌レコードを作成する。

・複数の逐次刊行物が合冊されている場合は、収録されている各逐次刊行物それぞれの書誌レコードを作成する。

TR: 児童 / 郷土教育聯盟, 日本児童社会学会  
VLYR: 1巻1号(昭9.6)-5巻6号(昭11.12)  
NOTE: 複製版の総合タイトル: 児童



愛児  
両親と教師の相談雑誌

TR: 子供の研究: 両親の雑誌・教師の雑誌  
VLYR: 6巻1号(昭12.1)-8巻7号(昭14.7)  
NOTE: 複製版の総合タイトル: 児童

TR: 児童 / 日本技術教育協会編  
VLYR: 6巻9号(昭12.8)-8巻1号(昭14.1)  
NOTE: 複製版の総合タイトル: 児童

TR: 愛児: 両親と教師の相談雑誌  
VLYR: 8巻2号(昭14.2)-9巻12号(昭15.12)  
NOTE: 複製版の総合タイトル: 児童

復刻された雑誌は、原誌の単位で書誌レコードを作成します。

例えば「児童 復刻版」というタイトルで出版された資料があり、この中に、「児童」がタイトル変遷した後の「子供の研究」「児童」「愛児」などという雑誌の復刻も含まれていました。この場合には、それぞれが1つの書誌単位となります。

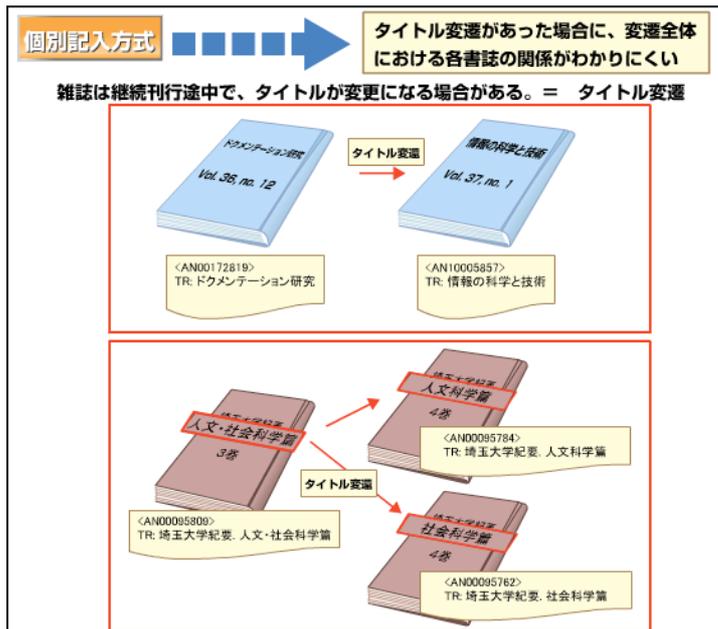
また、製本した形で購入した雑誌の中に、いくつかの雑誌が合冊されている場合にも、収録されている各逐次刊行物それぞれの書誌レコードを作成します。

以上、雑誌ファイルで、別の書誌レコードを作成する8つのケースについて、見てきました。

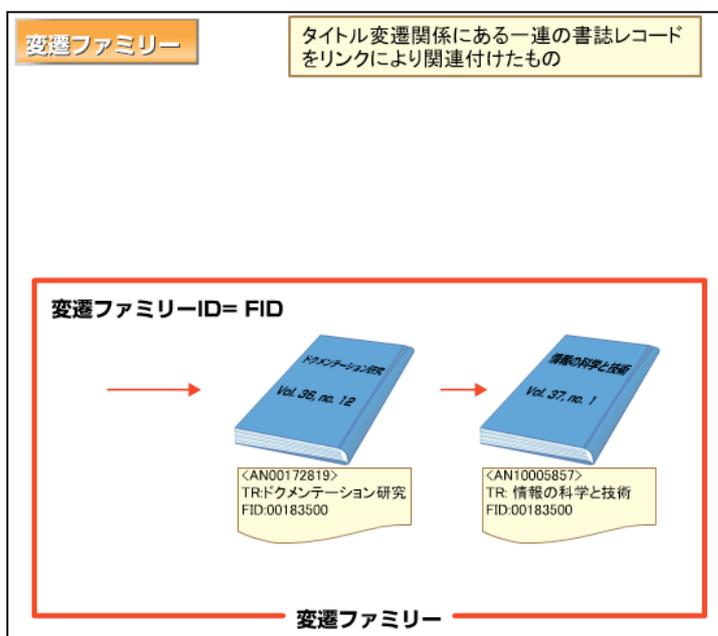
次に、タイトル変遷について、詳しく説明します。

第2章 書誌レコードについて

2項 タイトル変遷



前項で学習したとおり、刊行途中で本タイトルや従属タイトルが変更になることを、タイトル変遷と呼びます。NACSIS-CAT で採用する個別記入方式では、タイトル変遷があった場合は、そのタイトル変遷の前と後とで、個々に書誌レコードを作成します。個別記入方式には、タイトル単位で書誌レコードを管理することができ、資料の同定がより確実に行えるという利点がありますが、タイトル変遷が多ければ多いほど書誌レコードが増え、変遷全体におけるそれぞれの書誌レコードの関係がわかりにくくなってしまいます。



そのため、NACSIS-CAT では、一連のタイトル変遷の流れを「変遷ファミリー」という概念でとりまとめて管理しています。具体的には、変遷ファミリーごとに1つのタイトル変遷レコードが作成され、変遷ファミリーID (FID) がふられます。

第2章 書誌レコードについて

**変遷ファミリー**

変遷ファミリー内の関係を図示したもの = **タイトル変遷マップ**

**タイトル変遷マップ** 書誌レコード + 変遷の種類 とを図で表現

FID:00183500 継続: → 吸収: → 派生: →

検索結果 3 件

1. <AN00356786> UDC information / 国際十進分類法協会. -- 1号 (1950.4)-48号 (1958.4).
2. <AN00172819> ドキュメンテーション研究 / 日本ドキュメンテーション協会. -- No. 49 (1958. 9)-no. 49 (1958. 9) ; V. 9, no. 1 (1959. 1)-v. 36, no. 12 (1986. 12).
3. <AN10005857> 情報の科学と技術 = The Journal of Information Science and Technology Association / 情報科学技術協会. -- Vol. 37, no. 1 (1987. 1)-.

**変遷ファミリー**

そして、タイトル変更や合併・分離など変遷のある逐次刊行物の相関関係を、一目で理解できるよう工夫された図が「タイトル変遷マップ」です。「タイトル変遷図」ともいいます。

タイトル変遷マップでは、関係する書誌レコードとそれぞれの変遷の種類とを図で表現しています。

変遷マップは、変遷マップレコードを基に各クライアントで作成することになっていますので、クライアントごとに図のイメージは異なります。これはWebUIPでの変遷マップの例です。

この変遷マップにより、ある雑誌が以前どのような名前と呼ばれていたか、関連する雑誌にはどのようなものがあるかなど、簡単に調べることができます。

**変遷の種類**

継続: A誌がB誌にタイトル変更(合併・分離も含む)

吸収: A誌がB誌に含み込まれる = 吸収後はB誌のみ存在する

派生: A誌からB誌が生じる = 派生後はA/B誌とも存在する

FID:20713300 継続: → 吸収: → 派生: →

検索結果 5 件

1. <AA10521912> The Journal of analytical chemistry. -- Vol. 1 (1887)-v. 4 (1890).
2. <AA00519539> American chemical journal. -- Vol. 1, no. 1 (Apr. 1879)-v. 50, no. 6 (Dec. 1913).
3. <AA00692613> The Journal of analytical and applied chemistry. -- Vol. 5 (1891)-.
4. <AA00692602> Journal of the American Chemical Society / American Chemical Society. -- 1 (1879)-.
5. <AA00506049> Accounts of chemical research. -- Vol. 1, no. 1 (Jan. 1968)-.

**変遷ファミリー**

変遷の種類には、3つあります。

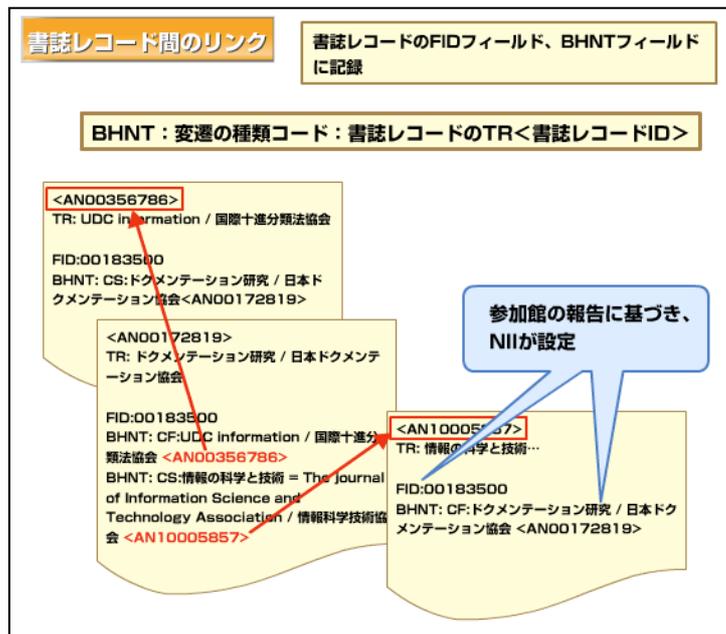
「継続」関係とは、タイトルが変更、または合併・吸収して、もとのタイトルはなくなる場合をいいます。

「吸収」とは変更後も、どちらかのタイトルが残るケースです。A誌がB誌に吸収された場合、吸収後はB誌のみが残ります。

「派生」は、A誌からB誌が生じることです。A誌からB誌が「派生」したという場合には、A、B両方が、派生後にも存続していることを意味します。

変遷の種類は、WebUIPでは矢印の色で区別していますが、矢印の形で区別する場合もあり、クライアントごとに様々です。

## 第2章 書誌レコードについて



変遷マップの情報は、変遷マップに含まれるそれぞれの書誌レコードのFIDとBHNTに記録されます。

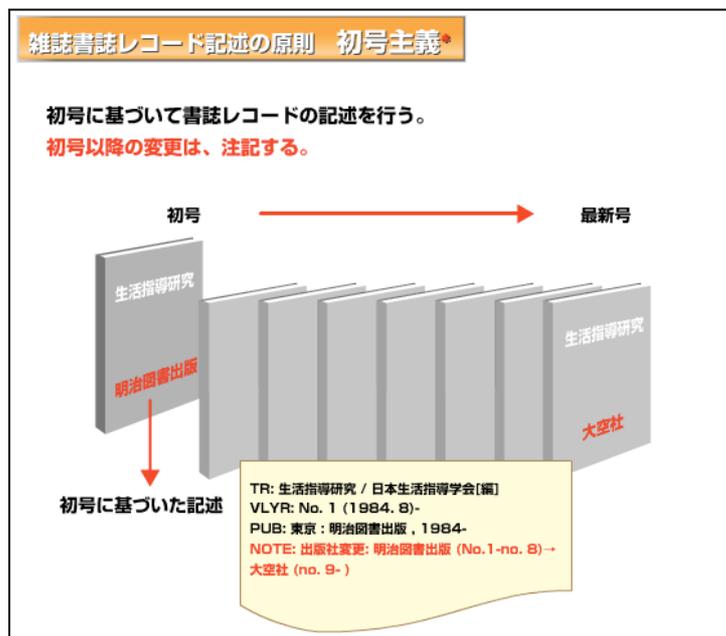
FIDには、その書誌レコードが属する変遷マップレコードIDが記録されます。

変遷注記BHNTには、前誌または後誌のタイトル及び責任表示、書誌レコードIDとが記録されます。

これにより、タイトル変遷マップと書誌レコード間、変遷前後の書誌レコード間とが相互にリンク付けられ、参照が可能になっています。

これらのフィールドは、参加館の報告に基づき、国立情報学研究所が設定します。

### 3項 基準とする号



次に、雑誌書誌レコードの記述の原則について説明します。

1項で学習したとおり、雑誌の書誌単位は、「継続して刊行される雑誌全体」です。

1つの書誌レコードの中には、その雑誌の複数冊の情報が含まれ、刊行途中に様々な変更が生じることもあります。記述の基にする号が異なると、書誌レコードの内容が変わってくるおそれがあります。

そのため、雑誌では、書誌レコード作成に際して「基準とする号」を決めています。

NACSIS-CATでは、「初号主義」を採用しています。「初号主義」とは、その雑誌の最初に刊行された号をもとに、書誌記述をおこなう考え方です。

初号以降の変更はNOTEフィールドに注記します。



第2章 書誌レコードについて

4項 補足 (書誌レコード作成・修正、変遷の報告)

**雑誌書誌レコード作成・修正の報告**

雑誌書誌レコードについては、国立情報学研究所でレコード内容の品質管理を行っているため、新規作成・修正の報告が必要。  
(コード類の修正・追加等の些細な修正の場合を除く。)

入力後の画面コピー

情報源のコピー

雑誌書誌レコードについては、国立情報学研究所でレコード内容の品質管理を行っています。

そのため、新規に書誌レコード作成したときや、書誌修正を行ったときには、国立情報学研究所への報告が必要です。ただしコード類の修正・追加などの些細な修正の場合は不要です。新規作成または修正を行った場合は、入力後の画面コピーと、記述の根拠となった資料の情報源のコピーを NII に送付してください。

**タイトル変遷の報告**

情報源のコピーは、表紙、標題紙の他、変遷が的確に分かるような必要箇所も

タイトル変遷リンクは、国立情報学研究所で作成するので、タイトル変遷を発見した場合も報告が必要。

NIIへ送付

入力後の画面コピー

情報源のコピー

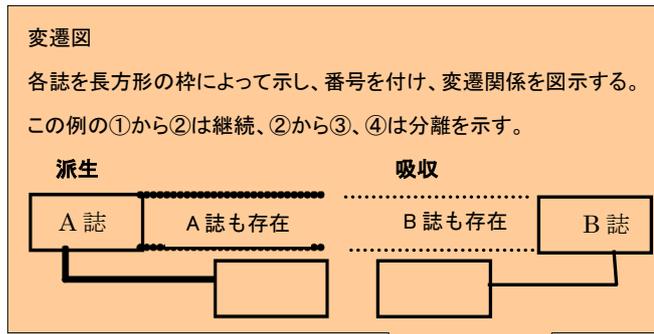
変遷注記用データシート

また、タイトルの変遷関係について、何らかの新事実を発見した場合も、タイトル変遷リンクは国立情報学研究所が作成しますので、報告をお願いします。

NIIには資料そのものがないので、情報源のコピーは、変遷直前・直後の号の表紙、標題紙等と、変遷が的確に分かるような必要箇所もお送りください。

変遷関係の報告の場合は、この他に変遷注記用データシートが必要です。

第2章 書誌レコードについて



これが、変遷注記用データシートの記入例です。

**タイトル変遷の報告**

変遷注記用データシート

参加館名 情報大学附属図書館    参加館種 (FID) 番号 A 0 1 2 3 4    記入者 情報 太郎    シート番号 0 0 0 5

**書誌データ**

変遷図

関連ファミリーID 0 0 4 0 6 6 8 0 0

注記欄

- ① 既存の変遷ファミリーに巻誌の追加がある
- ② 既存の変遷ファミリーに修正がある
- ③ 新たな変遷ファミリーが生成した
- ④ その他

番号	誌名番号(書誌ID)	誌名(タイトル)	巻次・年月次
①	AN00179363	農機具情報	-453号(昭43.12)
②	AN00191595	農業機械情報	454号(昭44.1)-no. 971(1999.9)
③	AA11415193	日農工情報	Vol. 1(1999.10)-
④	AA11421287	ひまわり:日農工会報	Vol. 1(2000.1)-

**変遷ファミリーID**  
変遷に追加や修正があった場合、また、複数の変遷ファミリーを1つに統合する場合は、関連するFIDをすべて記入。

**注記欄**  
変遷注記用データシートを作成した理由を選択する。

番号、書誌ID、タイトル、巻次・年月次を、判明している範囲で記入する。

- ・番号は上の変遷図内の指示番号に合わせる。
- ・タイトル欄には本タイトルタイトル関連情報、責任表示および版表示も必要に応じて記入する。
- ・巻次年月次は、時間の所蔵ではなく、その雑誌の初号と終号の情報

## 第3章 典拠レコードについて

### 1節 典拠ファイルとレコード

### 1節 典拠ファイルとレコード

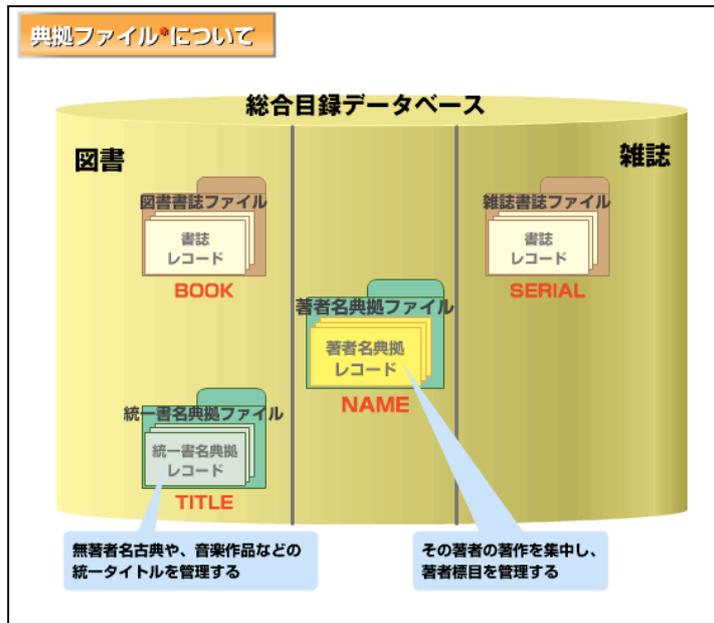
- 1項 典拠ファイルの目的と位置付け
- 2項 準拠する目録規則
- 3項 典拠レコードのデータ内容
- 4項 典拠レコードの作成単位
- 5項 著者名典拠レコードからのリンク参照
- ~~6項 タイプ~~

#### 【学習目標】

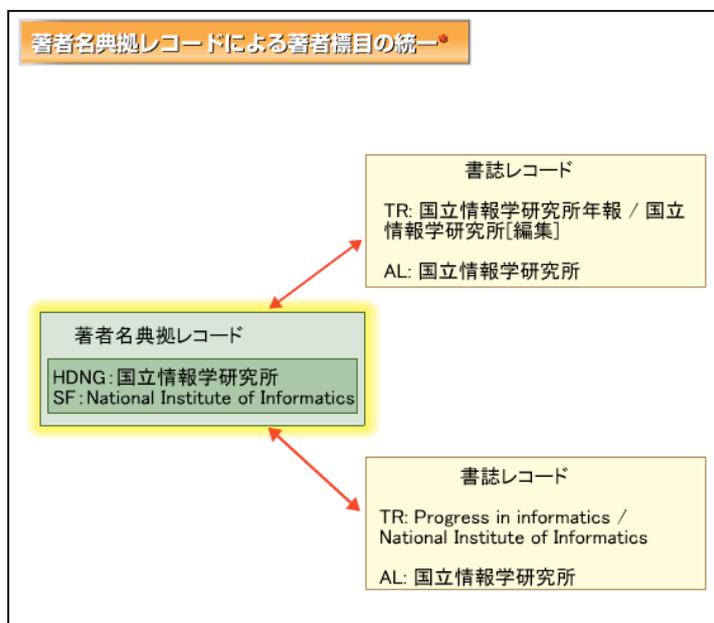
1. 典拠レコードの目的を理解できる。
2. 典拠レコードの作成単位を判断できる。
3. 典拠レコードのフィールドとリンク関係を知って、典拠レコードを活用できるようになる。

第3章 典拠レコードについて

1項 典拠ファイルの目的と位置付け



典拠ファイルには「著者名典拠ファイル」と「統一書名典拠ファイル」の2種類があります。著者名典拠レコードは、著者標目のよりどころとなる情報を納めています。著作を集中し、著者標目を管理するためのものです。統一書名典拠レコードとは、無著者名古典や、音楽作品などの統一タイトルを管理するためのものです。統一書名典拠ファイルは図書にのみ関係するファイルですので、ここでは詳しく触れません。では、「著者名典拠ファイル」の中に作成する「著者名典拠レコード」について説明することにしましょう。



「著者名典拠レコード」は著者標目の形を統一して管理するためのものです。さらに、書誌レコードとリンク付けることで、同一著者による著作を一括して把握することができます。例えば、国立情報学研究所が編集した刊行物は、記述部分に「国立情報学研究所」となっているものも、「National Institute of Informatics」となっているものも、「国立情報学研究所」という標目が立てられます。これが「著者標目」です。著者名典拠ファイルは、同じ著者の標目形が書誌レコードによって異なる事のないように、品質を管理する役割を持っています。

第3章 典拠レコードについて

2項 準拠する目録規則

**典拠レコードで準拠する目録規則**

	主な言語・公用語	目録規則
日本名、中国名、韓国・朝鮮名	日本語、中国語、韓国・朝鮮語	NCR87R
外国名	上記以外の言語	AACR2R

個人名の場合は、著作の原版で用いられている主な言語による。  
 団体名・企業名の場合は、公用語による。  
 (いずれも不明な場合は、総合目録データベースにおいて初出の著作の言語)

目録規則にはそれぞれ標目についての章があり、日本目録規則、英米目録規則共に第 II 部が標目に関する規則となっています。典拠レコードを作成する際に準拠する目録規則は、その資料本体の書誌レコードから判断するのではなく、著作の原版の言語や公用語が日本語、中国語、韓国・朝鮮語の場合は日本目録規則、そうでない場合は英米目録規則に準拠します。著者が個人の場合は、著作の原版で用いられている主な言語によりまずし、団体名・会議名の場合は公用語によって判断しますが、いずれも不明の場合は、総合目録データベースにおいて最初に登録された著作の言語によりまずします。

**典拠レコードで準拠する目録規則**

**記述** → **標目**

TR: Progress in informatics / National Institute of Informatics → AL: 国立情報学研究所

TR: 英米目録規則 / 米国図書館協会 → AL: American Library Association

異なる目録規則による標目形の記録

```

NAME
(DA0010242X) CRTDT:19860403 CRTFA:FA01177X RNWDT:20010403
HDNG: American Library Association
LCAID: 7906241
TYPE: c
DATE: 1876
SF: *アメリカ図書館協会||アメリカ トショカン キョウカイ
SF: 米国図書館協会||ベイコク トショカン キョウカイ
SF: ALA
    
```

注: 外国名のため『AACR2R』に準拠  
 『NCR87R』による標目形

したがって、“Progress in informatics”の編者“National Institute of Informatics”の著者名典拠レコードの統一標目形は日本目録規則に基づき、漢字の「国立情報学研究所」となります。また、「英米目録規則」の編者「米国図書館協会」は、日本語の資料の書誌データであっても著者標目は、英米目録規則に基づき、“American Library Association”となります。異なる目録規則による標目形を SFフィールドに参照形として入れる場合は、“\*”を付けて記録します。

### 第3章 典拠レコードについて

#### 3項 典拠レコードのデータ内容

著者名典拠レコードのフィールド			
フィールド名	説明	フィールド名	説明
ID	典拠レコードID	TYPE	著者の属性コード
CRTDT	レコード作成日付	PLACE	場所
CRTFA	レコード作成 参加組織レコードID	DATE	時間
RNWDT	レコード更新日付	(SF) *	から見よ参照形 "See From" Reference
RNWFA	レコード更新 参加組織レコードID	(SAF) *	からも見よ参照形 "See Also From" Reference
(HDNG)	統一標目形	NOTE	注記

著者名典拠レコードには、このような項目を記述します。

統一標目形 HDNG、個人/団体などの著者の属性コード TYPE、個人の生没年または団体の設立年などを示す DATE、参照形 SF、SAF、注記 NOTE などです。

SF フィールドは「から見よ参照形」を入力するフィールドです。標目に採用しなかった形から参照できるようにしています。

SAF フィールドは、「からも見よ参照形」です。別の典拠レコードも参考にするようにと示しています。

この2つのフィールドで、複数の名称がある著者/作品を多面的に検索できるようにしています。

それでは、著者名典拠レコードの作成単位について、詳しく説明することにしましょう。

#### 4項 典拠レコードの作成単位

著者名典拠レコードの作成単位\*

著者名典拠レコードは、原則として1著者に対して1つだけ作成

団体の別名は別のレコードを作成せず、SFフィールドに記述する

```

NAME
<DA12792438> CRTDT:20001023 CRTFA:FA001743 RNWDT:20001023 RNWEA:FA001743
HDNG: 国立情報学研究所 || コクリツ ジョウホウ センター
TYPE: c
PLACE: 東京都
DATE: 2000
SF: National Institute of Informatics
SF: NII
SAF: 学術情報センター || ガクジュツ ジョウホウ センター <DA01253453>
NOTE: 2000年4月創設 (学術情報セ
NOTE: SRC:NII news = 国立情報学
情報学研究所,2000.10-)
                    
```

標目形は「国立情報学研究所」  
"See From" Reference  
「NII」でも検索できるようにしている。  
"See Also From" Reference  
「学術情報センター」という改組前の別の著者名典拠レコードも参照するように示している。

著者名典拠レコードは、書誌レコードと同様に共有レコードです。

あまり登録する機会は無いかもかもしれませんが、レコード作成の基本的な知識は正しく使用するために役立ちます。また、修正すべきレコードかどうかを見分けるためにも必要です。

ここでは、著者名典拠レコードの作成単位について学習しましょう。

著者名典拠レコードは、原則として1著者に対して1つだけ作成します。

例では日本目録規則に基づいて、「国立情報学研究所」が統一標目形です。「NII」などの略称、英語名など別の呼び方は、別のレコードを作成せずに、SF フィールドに記述します。

改組、改称の場合は新たに著者名典拠レコードを作成し、SAF フィールドに記述して、相互に参照します。

第3章 典拠レコードについて

**同名異団体の区別**

標目に地名などの付記事項を付けて区別

- Goethe-Institut (Trieste, Italy)
- Goethe-Institut (Munich, Germany)
- Goethe-Institut Kyoto
- Goethe Institute (Beirut, Lebanon)
- Goethe Institute (Tripoli, Lebanon)
- Goethe Institute (Kuala Lumpur, Malaysia)
- Goethe Institute (Atlanta, Ga.)
- Goethe Institute (Dublin)

「Goethe Institute」だけでは区別できない。

地名などを付記しておく。

```

NAME
<DA01537031> CRTDT:19871012 CRTFA:FA002848 RNWDT:19871012 RNWFA:FA002848
HDNG: Goethe-Institut (Trieste, Italy)
LCAID: 82029799
TYPE: e
SF: Goethe-Institut di Trieste
SF: Trieste (Italy). Goethe-Institut.
NOTE: Colloquio internazionale su "problemi del nichilismo" (1980 : Trieste, Italy).
Probleme des Nihilismus. 1981 (s.e.) p. 5 (Triester Tagung: vom dortigen Goethe-Institut)
p. 127 (Goethe-Institut in Triest)
    
```

同名の場合などには、標目に地名などの付記事項を付けることによって他と区別します。

例えば、「Goethe Institut」という団体は世界中にありますが、後に地名を付けることによって区別します。

**団体名の扱い**

団体名に内部組織が含まれている場合は、その内部組織名まで含んだ形を標目とする。(NCR87Rの23.2.2.3任意規定を採用)

(書誌レコード)  
TR: 日本目録規則 / 日本図書館協会目録委員会編集

団体名の内部組織  
日本図書館協会目録委員会

HDNG: 日本図書館協会目録委員会

HDNG: 日本図書館協会

勝手な省略は不可

団体名で内部組織まで含めて記載されていた場合は、内部組織まで含んだ形で1つの著者名典拠レコードを作成します。

例えば、「日本図書館協会目録委員会 編集」となっている資料の著者名典拠レコードを作成する場合は、「日本図書館協会」ではなく、「日本図書館協会目録委員会」で作成します。勝手に協会内部組織を省略してはいけません。

第3章 典拠レコードについて

**団体名の扱い**

団体名に内部組織が含まれている場合は、その内部組織名まで含んだ形を標目とする。(NCR87Rの23.2.2.3任意規定を採用)

(書誌レコード)  
TR: 日本目録規則 / 日本図書館協会目録委員会編集

**団体名の内部組織**  
**日本図書館協会目録委員会**

↓

HDNG : 日本図書館協会目録委員会

HDNG:日本図書館協会. 目録委員会

「主標目.副標目」の形では記録しない。  
→必要があれば、SFフィールドに記録する。

なお、HDNG では「主標目. 副標目」の形にはせず、必要があれば、SF フィールドに記録します。

**団体名の変更**

団体の名称に変更があった場合は、それぞれの著作当時の名称を標目とする。

ある団体に対して複数の著者名典拠レコードが作成されるのは、その団体が名称を変更した場合のみである。それ以外の別名は、SAFフィールドではなく、SFフィールドに記録する。

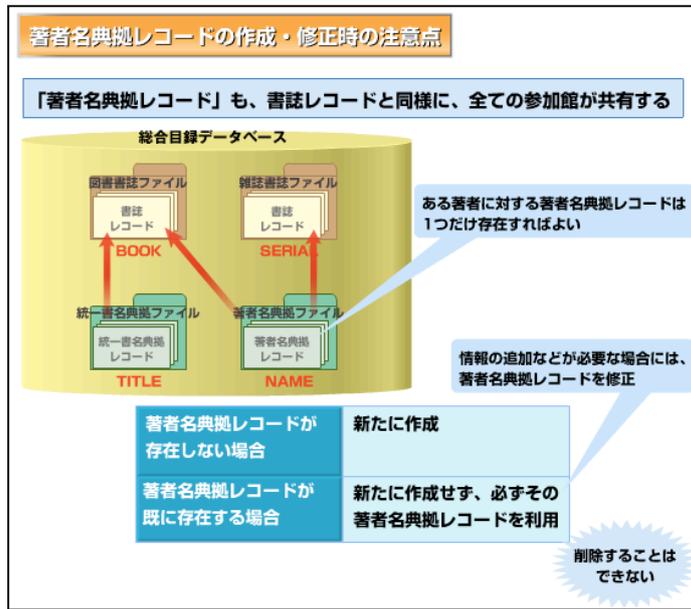
NAME  
<DA01253453> CRTDT:19870810 CRTFA:FA001743  
RNWDT:20010604 RNWFA:FA007262  
HDNG: 国立情報学研究所 || コクリツ ジョウホウガク ケンキュウジョ  
TYPE: c  
PLACE: 東京都  
DATE: 2000  
SF: National Institute of Informatics  
SF: NII  
SAF: 学術情報センター || ガクジュツ ジョウホウ センター <DA01253453>  
NOTE: 2000年4月創設 (学術情報センターより改組)  
NOTE: SRC:NII news = 国立情報学研究所ニュース / National Institute of Informatics(国立情報学研究所,2000.10-)

NAME  
<DA01253453> CRTDT:19870810 CRTFA:FA001743  
RNWDT:20010604 RNWFA:FA007262  
HDNG: 学術情報センター || ガクジュツ ジョウホウ センター  
TYPE: c  
PLACE: 東京都  
DATE: 1986-2000  
SF: \*Gakujutsu Jōhō Sentā (Japan)  
SF: National Center for Science Information  
SF: National Center for Science Information  
SF: NACSIS  
SF: Gakuzyūtu Zyohe Sentā  
SF: 文部省学術情報センター || モンブショウ ガクジュツ ジョウホウ センター  
SAF: 東京大学文献情報センター || トウキョウ ダイガクブンゲン ジョウホウ センター <DA0304469X>  
SAF: 国立情報学研究所 || コクリツ ジョウホウガク ケンキュウジョ <DA12792438>  
NOTE: 文部省大学共同利用機構  
NOTE: 1976年 東京大学情報学センターとして発足。1983年 東京大学文献情報センターに改組。改称。1986年 学術情報センターに改組。改称。2000年 国立情報学研究所に改組。

団体の名称に変更があった場合は、それぞれの名称で著者名典拠レコードを作成します。そして、各レコードの SAF フィールドを使用してリンクさせ、お互いに参照可能にします。

例えば、同一の団体であっても、「学術情報センター」という名称と、「国立情報学研究所」という名称でそれぞれ著作がある場合は、相互に参照します。名称の変更以外は別名ごとに著者名典拠レコードを作成してはいけません。

第3章 典拠レコードについて



「著者名典拠レコード」も、書誌レコードと同様に、全ての参加館が共有するものです。

すなわち、ある著者に対する著者名典拠レコードは1つだけ存在すればよいのです。

したがって、著者名典拠ファイルの中に該当する著者名典拠レコードが存在しない場合には、新たに作成しますが、既に存在する場合には、新たに作成せず必ずその著者名典拠レコードを利用します。

情報の追加などが必要な場合には、著者名典拠レコードを修正することができます。

ただし、著者名典拠レコードそのものを削除することはできません。

5 項 著者名典拠レコードからのリンク参照

**著者名典拠レコードからのリンク参照と著者名検索との違い**

	著者名リンク参照の場合	著者名検索の場合
同姓同名について	その人の著者名典拠レコードからのリンク参照なので、他の同姓同名の著者と区別が可能。	区別できない。一緒にヒットしてしまう。
他の表記形※について ※複数の筆名がある場合のもう1つの名前など	SFフィールド（から見よ参照）、SAFフィールド（からも見よ参照）の使用により、様々な名称でも参照可能。	TRフィールド、ALフィールドに表記されたものしか検索対象にならない。

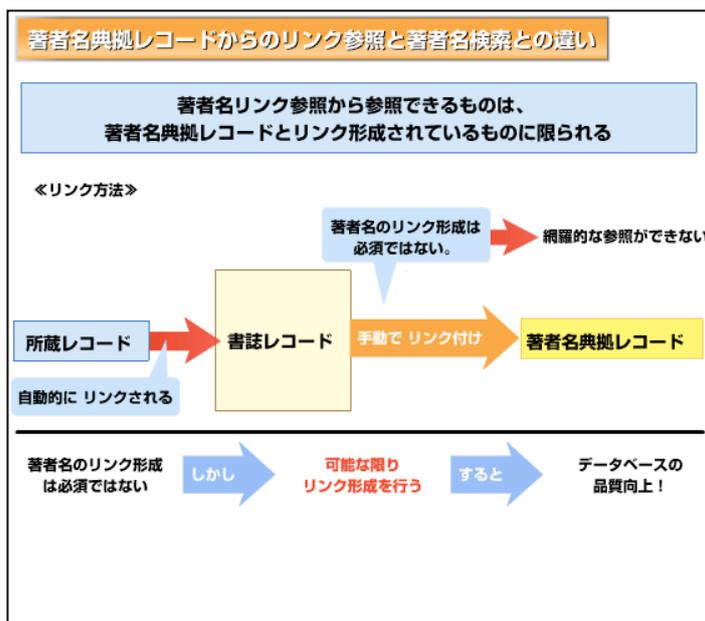
著者名典拠レコードからの書誌レコードへのリンク参照と著者名による書誌の検索は、両者ともその人の著作にどのようなものがあるかを調べる点で共通していますが、異なる点もあります。

著者名リンク参照では、その人の著者名典拠レコードからのリンク参照なので、他の同姓同名の著者とは区別可能です。

しかし、著者名検索では、同姓同名の人がいる場合、区別できないために一緒にヒットしてしまいます。

また、他の表記形での検索については、著者名リンク参照では、SFフィールド（から見よ参照）、SAFフィールド（からも見よ参照）の使用により、様々な名称でも参照可能ですが、著者名検索では書誌レコード中のTRフィールド、ALフィールドなどで表記されたものしか検索対象になりません。

第3章 典拠レコードについて



以上から著者名典拠レコードからのリンク参照は著者名検索より便利であるように思われます。ただし、著者名リンク参照から参照できるものは著者名典拠レコードとリンク形成されているものに限られるということに注意してください。

NACSIS-CAT では著者名のリンク形成は手動で行い、必須ではないために、現時点では網羅的な参照はできない状況になっています。

リンク形成漏れがどれくらいあるかは意識されにくいのですが、リンク参照が不十分ということも総合目録データベースの品質に関わることです。

可能な限り、リンク形成を行うようにしてください。

## 第4章 所蔵レコードについて

### 1節 所蔵ファイルとレコード

### 1節 所蔵ファイルとレコード

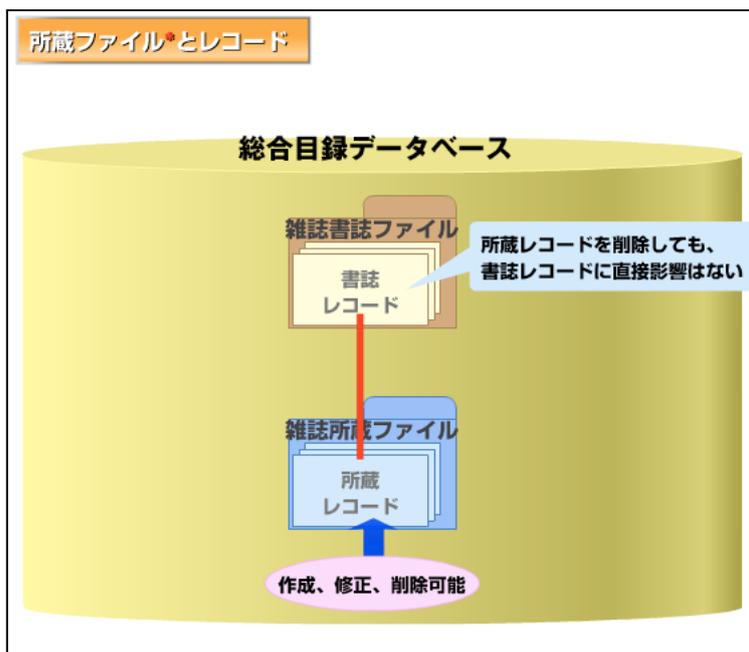
- 1項 所蔵ファイルの構成
- 2項 所蔵レコードのデータ項目
- 3項 所蔵レコードの作成単位
- 4項 雑誌所蔵レコードの記入方式
- ~~5項 クイズ~~

#### 【学習目標】

1. 所蔵レコードのデータ項目を説明できるようになる。
2. 所蔵レコードの作成単位を判断できる。
3. 雑誌所蔵レコードの記入方式を理解する。

## 第4章 所蔵レコードについて

### 1項 所蔵ファイルの構成



所蔵レコードは、所蔵に関する情報を、参加館がそれぞれ記録するためのものです。参加館の固有のレコードであるため、作成や修正に加えて、削除も各館で行うことができます。

所蔵レコードを削除しても、共有のレコードである書誌レコードに直接影響を与えることはありません。

所蔵レコードは、作成すると自動的に書誌レコードにリンク付けられ、削除するとリンクも削除されます。

### 2項 所蔵レコードのデータ項目

**所蔵レコード\*のフィールド**

フィールド名	説明	フィールド名	説明	フィールド名	説明
ID	所蔵レコードID	LOC	配置コード	図書のみ	
BID	書誌レコードID	CLN	請求記号	VOL	巻次等（巻冊次等）
FANO	参加組織レコードID	CPYNT	刷の注記	RGTN	登録番号
LIBABL	参加組織略称	LDF	図書館定義フィールド	CPYR	刷年
CRTDT	レコード作成日付	LTR	ローカルレーシング	雑誌のみ	
RNWDT	最終レコード更新日付 (レコード修正日付)			HLYR	所蔵年次
				HLV	所蔵巻次
				CONT	受入継続表示

SHOLD  
 <CA1021973124> CRTDT:19990927 RNWDT:20000926  
 BID:AN00269397 FANO:FA001685 LIBABL:A大 LOC:研究室  
 HLYR:1955-2008 HLV:101-152.153(1-10) CONT: +  
 CLN:830 5|4  
 LDF:英文科

所蔵レコードには、資料の配置場所を表す配置コード、請求記号などを記述します。配置コードはあらかじめ国立情報学研究所に申請しているものだけを記述することができます。配置コードを設けていない図書館は記述する必要はありません。

請求記号については、各図書館での方針に従って記述します。

雑誌の所蔵レコードには、どの巻号を所蔵しているかを、所蔵年次 HLYR、所蔵巻次 HLV、受入継続表示 CONT のフィールドに記述します。

## 第4章 所蔵レコードについて

### 3項 所蔵レコードの作成単位

**所蔵レコードの作成単位\***

- 所蔵レコードは、1つの書誌レコードに対して、各参加館の配置コード1つにつき1つだけ作成できる。
- 1つの参加館で、複数の配置コードを設定している場合は、配置コード毎に所蔵レコードを作成することができる。

**書誌レコード**

<AN00269397>  
英語青年 / 英語青年社 . - 14巻1号 (明38.10)- .

SHOLD  
<CA0000676165> CRTDT:19850329 RNWDT:20080926  
 BID:AN00269397 FANO:FA001685 LIBABLA大 LOC:本館  
 HLYR:1935-1954 HLV:73-100 CONT:  
 CLN 830.5|4

SHOLD  
<CA1021973124> CRTDT:19990927 RNWDT:20080926  
 BID:AN00269397 FANO:FA001685 LIBABLA大 LOC:研究室  
 HLYR:1955-2008 HLV:101-152,153(1-10) CONT: +  
 CLN 830.5|4  
 LDF:英文科

所蔵レコードは、1つの書誌レコードに対して、各参加館の配置コード1つにつき1つだけ作成できます。

1つの参加館で、分館や分室というように配置場所に合わせて複数の配置コードを設定している場合は、1つの書誌レコードに対して配置コード毎に所蔵レコードを作成することができます。画面は、参加館「A大学」に配置コードとして「本館」と「研究室」が存在している場合、それぞれの所蔵を登録している例です。

### 4項 雑誌所蔵レコードの記入方式

**雑誌所蔵レコードの記入方式**

所蔵レコードの記入方式は、実際に目録対象資料上の表示にかかわらず、巻レベル・号レベルの2階層で表現。

数字と（ ）のみで表現する事で、絞り込みなど機械的な処理が可能に。

**巻レベル (号レベル)**

3

37 (1)

2006

所蔵レコードの記入方式は、実際に目録対象資料上の表示にかかわらず、巻レベル・号レベルの2階層で表現します。

1階層目を「巻レベル」、2階層目を「号レベル」と呼んでいます。

記入の仕方は簡単です。まず、巻レベルの数字を書き、その後、丸括弧に入れて号レベルの数字を記入します。数字と（ ）のみで表現する事によって、巻号での絞り込みなどの機械的な処理が可能になっています。

第4章 所蔵レコードについて

雑誌所蔵レコードの記入方式

所蔵レコードの記入方式は、実際に目録対象資料上の表示にかかわらず、巻レベル・号レベルの2階層で表現。

数字と（ ）のみで表現する事で、絞り込みなど機械的な処理が可能に。

巻レベル (号レベル)		
	実際の表現	記入例
1階層	No. 1	1
	5巻	5
	通巻41号	41
	平成19年度	19
2階層	28号第1分冊	28(1)
	Vol. 12, no.18	12(18)
	21巻6号/通巻174号	21(6)
	7巻2月号	7(2)
	2000年第3号	2000(3)
3階層	Vol.3,no.2,part1	3(2)

表記上「号」に相当する名称であっても、1階層の表現方法の場合は、そのまま巻レベルとして記入。

巻レベルか号レベルかは、階層のみで判断します。たとえば、資料に「No. 1」とだけ表示されている場合は、1階層の表現ですから、巻レベルとなります。

雑誌所蔵レコードの記入方式

所蔵レコードの記入方式は、実際に目録対象資料上の表示にかかわらず、巻レベル・号レベルの2階層で表現。

数字と（ ）のみで表現する事で、絞り込みなど機械的な処理が可能に。

巻レベル (号レベル)		
	実際の表現	記入例
1階層	No. 1	1
	5巻	5
	通巻41号	41
	平成19年度	19
2階層	28号第1分冊	28(1)
	Vol. 12, no.18	12(18)
	21巻6号/通巻174号	21(6)
	7巻2月号	7(2)
	2000年第3号	2000(3)
3階層	Vol.3,no.2,part1	3(2)

2階層の表示と通号がある場合は、2階層の方を優先して採用します。

2階層の表示と通号がある場合は、通号は採用せず、2階層の方を優先して採用します。

第4章 所蔵レコードについて

雑誌所蔵レコードの記入方式

所蔵レコードの記入方式は、実際に目録対象資料上の表示にかかわらず、巻レベル・号レベルの2階層で表現。

数字と（ ）のみで表現する事で、絞り込みなど機械的な処理が可能に。

巻レベル (号レベル)

	実際の表現	記入例
1階層	No. 1	1
	5巻	5
	通巻41号	41
	平成19年度	19
2階層	28号第1分冊	28(1)
	Vol. 12, no.18	12(1)
	21巻6号/通巻174号	21(6)
	7巻2月号	7(2)
	2000年第3号	2000(3)
3階層	Vol.3,no.2,part 1	3(2)

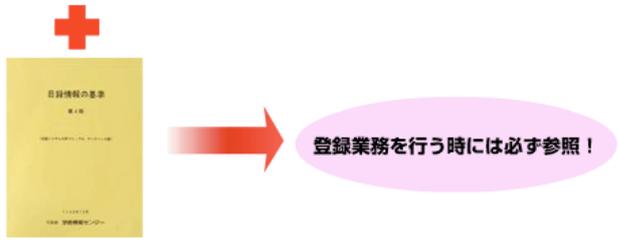
分冊等3階層以上の表示がある場合は、最上位の2レベルを巻レベル、号レベルとして、下位の表示については無視する。

分冊など3階層以上の表示がある場合は、最上位の2レベルを巻レベル、号レベルとして、下位の表示については無視します。

具体的な雑誌所蔵登録の方法は、後続のコースで学習します。

**おわりに**

「コーディングマニュアル」をはじめとするNACSIS-CATの各種マニュアル



登録業務を行う時には必ず参照！

NACSIS-CATにデータを登録するための基準をしっかりとご理解いただき、総合目録データベースを質の高い充実したものにしていくため、是非ご協力ください。

以上、NACSIS-CATによって雑誌の情報を総合目録データベースに登録するための基本的な考え方を「目録情報の基準」に基づいて学習しました。それぞれの項目に情報を記述するための詳しい規則については、「コーディングマニュアル」をはじめとするNACSIS-CATの各種マニュアルなどに記載されています。実際に登録業務を行う時には必ず参照してください。NACSIS-CATにデータを登録するための基準をしっかりとご理解いただき、総合目録データベースを質の高い充実したものにしていくため、是非ご協力ください。